(明治四十二年八月十日第三種郵便物認可)　(年中無休刊)

京城日報

十三日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢
廣告料
京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

○希臘聯合國に屈す

雅典來電——聯合國の最後通牒を承諾せる希臘政府の回答は十日聯合國側に交附せられたり(紐育電報)

○講和と佛下院議長

佛國下院議長デシャーネル氏は下院に於て演説して曰く吾人のプログラムの重なる目的は白耳義の解放とアルサス、ローレンの回復との二者に存す此の二個の目的を達してこそ初めて我等の犧牲は償はれ我等の死せる同胞の魂魄は慰められ且佛蘭西の爲めに茲に永く平和の保障さるゝなれと氏は猶議會政治に對して兎角の言を爲す者あるに對して熱心に之を擁護せり(紐育電報)

○英戰艦飛行母艦の沈沒

英國海軍省の發表に曰く戰鬪艦コーンウオリス號は九日地中海に於て敵潜航艇の爲めに擊沈せられ乘組員十三名行衛不明となり又飛行母艦ベンミイクリー號は小亞細亞南岸カステルリゾ島附近に於て十一日敵の砲火を被りて沈沒し士官一名下士卒四名傷きたり(紐育電報)

○羅馬法王侍從放逐

羅馬法王侍從グルラックは伊國軍艦沈沒に關係ありとして放逐せられたり(紐育電報)

○政府側の方針

不信任案問題に對し

國民黨が現内閣不信任案提出を決し先づ政友會に交渉を開始し憲政會も亦愈々其の決心を表明せんとするに當り政府側の方針如何を聞くに寺内首相は最初表明せる乘公持平の態度は依然として今日も渝る事なく世間に傳ふるが如く一黨一派を基礎とするが如き事なきは勿論兎角の噂ある政友會との關係も未だ同會に對して何等の渡りを付け居らざるは明白なる事實にして閣僚間の意見も亦當初の主義を遵守するに一致し萬已むを得ずんば斷然輿論に問ふべく決し居れりと某閣僚は語れり(東京特電)

○正式通知を發す

三黨首會同の爲め

寺内首相は豫て希望せし如く加藤、原、犬養の三黨首に會同を求むべく十二日正式に夫々通知を發せし由にて其の會合の時日に就ては猶雙方の都合を打合せたる上決定せらるべしと(東京特電)

○鐵道線路復舊

降雪の爲め不通なりし信越線山陰線全部復舊開通せり(東京電報)

◎總督邸晩餐會

長谷川總督は十七日午後六時三十分より臨時道長官會議の爲め入京せる各道長官を官邸に招待晩餐會を開く山縣政務總監以下總督府内各部長官、局長、所屬官、署の長等陪席す可し

◎道長官會議

日程變更さる

十五日より十七日まで三日間總督府第二會議室に開催の筈なる臨時各道長官會議は都合により左の如く日程の變更を見たり但し次第其の他の事項は既記の通り何等の相違なし

十五日　總督訓示道長官管内狀況報告
十六日　道長官管内狀況報告
十七日　道長官管内狀況報告及び指示

◎司法官の異動

京城覆審法院檢事長の退職に因り近く京城釜山其他の各法院上級檢察官に異動發表せらるべしと

◎荒井長官出發期

内務省所管事務政府委員たる總督府度支部長官荒井賢太郎氏は十六日京城出發東上の事となれり南大門發時刻は未定なるも多分夜行となる可し

◎秋山博士出發

内務省所管事務政府委員に任命されたる總督府參事官法學博士秋山雅之助氏は十四日午後七時五十分南大門驛發汽車にて東上に決せり

◎京城府尹の招待會

金谷京城府尹は十三日午後六時より花月に於て晩餐會を開き松永道長官を始め有賀、時永、兩課長、入澤、深尾兩部長、石原、北村、車田各事務官、高見、森兩技師及び府協議員學校組合議員等約五十名を招待す

◎山岡技師退職

總督府土木局技師山岡元一氏は今回職を辭し十三日朝南大門驛發汽車にて東京に向へり

◎遞信局員昇給

遞信局にては監理課書記森忠一郎氏以下書記書記補技手百三十名の昇給を十二日附局報にて發表せり

◎撫順炭坑爆發の影響

石炭の供給益々減せん

滿鐵の經營に係る撫順炭坑大山坑の瓦斯爆發に就ては本紙既報の如きが其の影響に就き滿鐵鑛業課京城出張所當局の談を聞くに大山坑の瓦斯爆發に就ては概略を本社より報じ來りしのみにて未だ詳報に接せざる爲め其の結果等に就ては確言し難きも大山坑は

▲採掘設備新式 にて最善の施設を施しある爲め假令瓦斯の爆發を見るも全坑の被害並に入坑人員全部の死傷は恐らく之れなるべきも少くも其の復舊までには相當の時日を要するものと見ざる可らず故に撫順炭坑一日の出炭七千噸中大山坑の採掘約一千噸は當分供給の途を絕たる譯なり從つて朝鮮への撫順炭供給高は現今一日約四百噸内外にて契約炭二百噸を除けば一般の需要に應じつゝある炭量は僅々一日二百噸に過ぎず之れを需要の割合より見れば其の四分の一に過ぎざるなり然れば九州炭は炭價の高値と船腹不足にて入鮮困難の狀態にあり加ふるに嚴寒は例年に比なく打續くより其の

▲石炭需要 は益々旺盛を告げつゝある時大山坑の爆發は必然朝鮮に對する撫順炭の供給に若干の喰ひ込みを來すべく市場の需要には益々應じ兼ぬる事とならずや又狀勢如斯しとすれば炭價も現在の十二圓六十錢にて持續する事は困難となり若干の强含みを見るべきか尚ほ石炭の需要と供給に前述の如く隔差あり然も各地の燃料に非常の不都合なきは商賈迄に於ける各需要家の買込み貯炭若干存在する爲めにて一月末に至り右の貯炭を用ひ盡さば石炭不足の聲は一樣に高まり來るべしと

◎鮮銀總裁旅程

平壤及び滿洲に於ける

朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は井内調查局長大原秘書役を隨へ十三日午前九時十分南大門驛發列車にて西鮮並に滿洲視察の途に上りしが其の日程は十三日午後三時十分平壤下車同夜は平壤官民を招待就任披露の宴を催し十四日平壤視察午後三時二十分發列車にて北行十五日朝奉天着各方面訪問並に視察同夜は赤塚總領事外奉天日本官憲及び民間有力者を招待し十六日夜は張督軍以下支那官憲並に民間有力者を招待十七日朝奉天發同夜大連着一泊十八日旅順に向ひ同夜は關東都督府外官民招待の盛宴を催し二十日朝大連出發直行歸鮮するか若くは長春に向ふかは未だ不明なれど二十三日夜迄には歸任の筈なりと

◎東拓の長官招宴

東洋拓殖會社にては松永京畿道長官並に會議列席の爲め入京中の各道長官を招待し十五日午後六時朝鮮ホテルに晩餐會を催す由なるが會社よりは石塚總裁川上松平兩理事他顧問二宮滑水兩參事等列席すべしと

◎東拓參事技師新任

東洋拓殖會社にては十二月三十一日附にて左の如く參事及び技師の新任を行ひたり

參事　秋山通四郎
同　伊東四郎
同　阪本宮次
參事　永山幸造
同　安井亮
同　谷川浩
參事を命ず(各通)
技師　秋山貫男
技師を命ず

◎東拓異動發表期

東洋拓殖會社にては參事技師書記技手の異動に付詮衡中なりしが愈々決定し來る十五日發表の筈なるが本社及び出張所在勤者の交迭昇任等頗る多數に上る由

◎大倉氏の西行

入京中なりし大倉喜七郎氏一行は鐵山部員江刺重樹氏を從へ十三日午前九時十分南大門驛發列車にて黃海道殷栗金鑛視察の途に上りしが視察後一應京城に引返し更に本溪湖に向ふべく久美子夫人はそれまで滯京する由

◎小畑氏送別會

東拓參事小畑階造氏の送別會は十五日午後六時より淸華亭に開催の事となり當夜は三本鐵道局理事、大塚參事官、橫田判事、中野警務官、石原事務官、深尾事務官、國友警視、石原警視、松井警視其他官民三十餘名出席すべしと

◎故南副尉葬儀　故步兵副尉南泰和氏の葬儀は十三日午前十時三十分訓練院にて執行されたり

◎仁川正米取引

蹶晩の高値十二圓三四十錢に下落したる仁川米相場は五日頃に至り大阪に於ける定期正米高の反動を受けて相場を盛り返し高値十二圓七十錢となりたるも穀擢業者側は商臘非常の買込みをなし貯藏品豐富なれば手合せ不活潑にて小口取引行はれたるも十二錢に至り殆んど手合せ無く市場の空氣は依然として此の狀態にて推移すべく殊に朝鮮人側は舊正を控へて年末決濟其他金融上の關係より放資せざる可らざるを以て精米所筋より買注文を發せざる以上相場は下落一方なる可しと(仁川)

◎群山の浮標流失

群山港外に於ける第一號掛燈浮標去る十日の暴風雨にて何方へか流亡せる爲め遞信局にては目下切りに搜索中なるが航海業者は注意を要すと

◎江華島遞送通ず

海上風浪荒く加ふるに流氷あり仁川江華島間の交通は一月六日以來全く杜絕せられて郵便物の如き疏通の途なく公私共に著しき不便を感じゐたりしが遞信局にては十三日其の所屬船辰丸をして險を冐し行囊十一個を積載して江華島に航行せしめ同島陸地に揚陸郵便局との間に連絡の途を見出し又江華島發郵便行囊二個を積み取り歸航せりと

◎輕便線路丈量

朝鮮輕便鐵道會社にては愈々大邱より河陽間十五哩線路丈量を開始したるを以て十一日同社理事補岩永重華氏は測量班三組六名、土地買收掛員四名を率ひ大邱へ出張し又た水木技師長も一兩日中に同地へ出張する筈なるが工事入札は二月中旬なりと(釜山)

◎京釜線隧道貫通

京釜線改良工事中沃川太田間の白石隧道の工事は著々進捗中の處十一日午後十時を以て貫通したり該鐵道は延長三百九十七尺なりと

【仁川】

▲櫻井稅關長入京　仁川稅關長櫻井小一氏は十三日午前十時紐帆發入京同日午後六時歸仁の筈▲郵便電信取扱數　十二月中仁川郵便局に於ける郵便物引受配達數は二萬二千五百七十二個にして前年同期に比し一萬二千百七十三個減爲替貯金は受入五千五百三十三口十一萬五千九百十八圓九錢にして五萬六千四百五十三圓四十三錢五厘增拂出二千七百五十五口八萬百三十二圓七錢にして五千五百五十七圓八錢增電信に於ては發信著信合計二萬四千五百六十一通にして千九十三通の增にて概して繁忙也と▲入學兒童注意　四月新學年に入學すべき兒童は明治四十二年四月二日生れより同四十四年四月一日生れ迄なるを以て保護者は來る二月中迄に戶籍謄本及び抄本を學校組合に提出すべしと

【元山】

▲元山の大豆檢查　昨年十二月中元山大豆檢查所に於ける大豆檢查狀況を聞くに受檢人員は十六名にして四萬三千二百九十二叺五百三十五袋にして內一等品三萬八千三百三十四叺、五百三十五袋、二等品四千十叺、元外六百十八叺、三等品三百三十叺に達し居れりと▲元山北魚會大會　元山在住の俳人數十名より成れる北魚會は十四日午後一時より大芳樓に於て新年俳句大會を催す筈▲咸南苗圃補助金　咸南九十四面苗圃の苗木植付面積は四十餘町步に達し之れに對する獎勵補助金として內五十箇所に六百圓を下附したるが本年度は更に之れを擴張し六十六箇所に對し七百二十圓を下附すべしと▲咸興新年俳句大會　山光不及庵俳句會を有する咸興に於ては來十四日を卜し市內三吉野に於て新年俳句大會を開催し一般同好者の來會を歡迎すべしと▲咸興橋の修繕　咸興西湖津間なる成興橋は一千六十圓にて修繕さるべく材料其他諸般の準備全く成りたるを以て近々之れが工事に著手する筈なりと

【平壤】

▲石炭値上と在高　內地市場に於ける石炭の品薄、內地及び鮮滿輸送力の不充分、鮮滿稀有の極寒とは益々價格の昂騰となり殆んど底止する所を知らざるの狀態にして加之京城に於ける石炭缺乏の聲は乍ち平壤市場にも少なからぬ影響を與へ十日又復値上を見、筑豐炭十二圓、撫順炭十二圓五十錢、安州炭七圓八十錢を呼び今後の天候若くは砲著の如何によりては仍ほ値上げを見んず形勢なるが十一日の現在高は中村組に撫順二百噸、筑豐三百噸、三國商會に撫順粉塊炭取交せ三千噸在るのみにて安州炭の在高は不明なり▲牛疫發生と平南　今回平北に牛疫發生したるに對し平南道に於ては其道界密邇、德川、价川、安州の四郡は淸川江岸全部に對し自衞團を組織し彼我の交通を警務官憲と協力し監督を嚴密にし侵入を防止中也▲平壤滯貨數量　平壤驛に於ける內地行鮮ち聯帶貨物の發送受託數量は十一日現在高四百三十噸なるが右滯貨數量は過日來容易に減退せざるが開は受託順によりて貨車の都合を見計らひ發送すれば從つて又貨物の受託を爲すが爲め殆んど前記數量は据置きの姿となり何れの日が之れを一掃すべきか目下の場合にては到底見當も附かずと尙毎同日の釜山埠頭に於ける聯帶貨借は約三萬噸以上なり▲平南畜産組合　平安南道に於ける勸業中獨り畜産のみは農民をして自發的に畜産組合なる團體を組織せしめ技術員を養成して畜産に關する諸般の事業經營をなさしめつゝありと而して從來江東平壤大同中和を區域とせる平壤畜産組合及び陽德寧遠の二郡に畜産組合設立され居りたるのみなりしが五年度中に新に順川孟山成川德川价川の五郡に該組合を新設せられ近く安州郡にも組合設立認可さるべく斯して平安南道の畜産業は漸次發展の域に進みつゝあり▲客年末平壤戶口　五年十二月末に於ける平壤府內地人戶數は二五八八戶人口男五〇九八人同女四六五三人計九八六二人鮮人戶數九八六二戶人口男二一〇九五人同女二〇九九一人計四二〇四五人外國人戶數一六一戶人口男四七四人女一三七人計六一一人にして十一月末に比すれば內地人に於て九五人鮮人に於て一二九人外國人に於て八人の增加を示せり

【鎭南浦】

▲五年中の貿易　大正五年一月以降十二月迄の移輸出入貿易總額は一千二百七萬六千圓に達し是を前年に比し四百五十四萬圓前々年に比し五百七十五萬圓の增加となるの一大記錄を形成せるが其主因を需むるに久原鑛業會社が含金銀粗銅製鍊を開始し總額三百八十八萬圓の移出を開始せるにある事勿論なるが一面無煙炭及鐵鑛の鐵鑛亦前年に比し好成績を擧げ前者は十二萬噸四十七萬圓後者は安岳鐵鑛を加へ十七萬噸四十四萬圓を算したるなど與りて力あり而して惹目せられたるは主として外人の手になる金銀沃鑛が前年の六十二萬圓に對し八十萬圓を數へたる一事なり此外移輸出に於て前年に比し增加したるは牛皮の十三萬圓にして三萬圓を增したるがあり米穀に於て前年二百四十萬圓を示したるに二百十一萬を數ふるに過ぎざりしは玄米幷に中白米の不振に職由せり其輸移入に於て最も著しきは絲綿布類陶器砂糖等なるが食鹽に於て四萬圓を增し十三萬圓を示したるは支那鹽の塡充を餘儀なくせしめし結果にして其他鐵材セメント瓦、煉瓦等の建築材料に於て增加したるは三菱製鐵所及び平壤に於ける諸工事の影響と見るを得べく製鍊所用銀鑛が二十萬を算したるは又輸移入の一特色たるを免れず

【木浦】

▲女學校問題其後　當府に設置決定せし實科高等女學校は其後學則起草中なりしが既に脫稿したるを以て來る十五日の初會議に提出其決議を俟つて直に其々手續を爲すべしと▲會議所活動　當會議所福田會頭は宮木道長官上京前從來より上申せる諸般の問題其他重要案件に關し長官の指導を請ひ置く必要あり中田會議所書記長は十日上光せり▲玄米輸出高　本年に入り昨十日迄に當港より輸移出したる玄米は三千五百三十叺にして等級は特等二十六叺上格四百九十八叺他は下格米にて何れも大阪仕向けなりと

【大田】

▲愛國婦人新年宴會　大田愛國婦人會にては數日來委員諸子の奔走にて十四日午後二時より富士家に於て新年宴を催す筈にて出席者は會員其他來賓合して四十餘名に及び席上種々餘興あり最後に福引を爲し頗る盛會を極むべし▲大田納稅成績　大田郡第一期納稅成績は調定額二萬八千四百三十七圓八十八錢に對し收入濟額二萬七千七百八十九圓七十二錢にして未收額六百四十八圓七十六錢即ち九割七步七厘の收入歩合にして本年は農家經濟富裕なるため昨年に比し頗る良成績なりと云ふ▲本署長出張　大田警察署長橋本警視は公用を帶び十二日午前永同に出張翌十三日歸任す▲實業協會役員會　大田實業協會にては來る十六日頃新春第一回理事會を開催する筈なり[illegible]に去る八日本町二丁目幼稚園跡に其の事務所を移轉したるを以て同所に於て會合すべし▲製莚傳習　大田郡にては去る八日より一週間大田産業傳習所及び鎭嶺面に於て叺莚製造傳習を行ひ講習者は約四十餘名なりと云ふ

【釜山】

▲血精所視察　過般來東上中なりし中央試驗所長技師今津明、總督府殖産局畜産技師野口次郎三兩氏は十一日朝釜山入港の連絡船新羅丸より上陸直に望月血精製造所長と共に旅南丸にて血精製造所に至り同所を視察し同夜十一時釜山驛發急行列車にて京城に歸任したり▲餌料供給狀況　朝鮮水産組合にては例年の如く去る十月より實行せる餌料供給の成績を聞くに今日まで買入れし蛸は三萬八千五百九十六尾此價格八百九十二圓七十四錢六厘にして漁船に賣渡したるは一萬四千八百十尾此價格五百三十八圓七十四錢にして逃亡したるもの二千五百三十尾死亡したるもの三千三百六十七尾殘存一萬七千八百九十六尾なりと而して餌料は全部鯛延繩漁の料に供給せられたるものなるが昨今は寒氣嚴しきため沖漁振はず爲めに餌料の供給最も少しと▲穀物改良通牒　穀物改良組合より馬山同組合員に對し通牒を發したる要旨は元來慶尙南道産米中最も上位にある産米としては馬山の右に出るものなく且つ朝鮮全道より見るも馬山米が上位にありて內外に其聲價を博せるは既往慣例の證する所にして大阪神戶の取引上に於ても朝鮮上米なるものは馬山米の名稱を冠する慣例あり是れ畢竟其米質及び調製の善良に基因し馬山當業者の大に誇りとする所なり然るに大正五年度産米を見るに米質に於ては以前より遜色なきも其調製不良にして下格米多く爲めに當釜山穀物市場の初相場の如きも例年第一位を占むる馬山米は遂に河東米に奪はれ第二位に下り永年米穀界の月桂冠を擔ひし上米も茲に聲價の失墜を見たるは斯

謹賀新年
迂生儀大正三年以來歐洲留學中の處今般無事歸朝仕從前の通り法律事務に從事可仕候間何卒倍舊の御眷顧を賜り度此段謹告仕候
京城黃金町壹丁目一三二
辯護士 特許辯理士 岩田仙宗
電話三五四番

人事消息

▲富士英氏(支那總領事) 十二日午後仁川より歸京
▲宋秉畯子爵 十二日午後福溪より歸京
▲岡正英氏▲森原喜太郎氏(以上京城電氣重役) 十三日朝東上
▲ロバート氏夫妻(米國陸軍大佐) 同上
▲榊林啓太郎氏(成興炭坑重役) 十三日朝入京
▲國吉亮輔氏(大阪辯護士) 十二日夜入京天慎浦尾へ
▲大淵邦雄氏▲竹村第二氏(以上會社員) 十三日朝退京
▲山岡元一氏(總督府技師) 同上
▲中野致氏(鮮銀大邱支店長) 同上
▲赤澤春川憲兵隊副官 同上
▲藤野欽祀 十三日朝內地より歸京

病氣見舞にと無佛庵主より國民年鑑を贈り來りければ　萩の屋鄙夫
送りきし君か情の年鑑いさ御き見ん現世のさま

時間表
(南行)
(北行)

お正月の思ひ出

—(七)水筒に一杯宛の日本酒の祝盃

◆老鐵山下、地隙の晩餐

元日の夜半になつて攻撃動作中止命令

—駐剳軍參謀長白水少將の談—

由來お正月は祝突の月でおやじにとつては餘り樂しいものぢやあない、お正月の悦しいのはハネ廻る子供ばかりさ、なに我輩の五十年來

◆最も愉快な正月

をはなせか——我輩の記憶では明治三十八年旅順攻撃に於ける正月が最も愉快なやつた當時我輩は旭川師團の中佐參謀として二〇三高地の占領を了り師團の主力は將に老鐵山の攻撃に移らんとするの時であつた、然るに老鐵山方面

◆鳩灣の附近には

敵の最左翼根據地なる後山羊頭村の陣地があつてわが軍が老鐵山に肉迫するには是非共此處を奪取せなければならぬのであつた、それでわが第七師團の精鋭は正面老鐵山砲臺からあびせかける巨彈を物ともせず恰度一月一日の元旦に敵の陣地を

◆陷落せしめたの

である、當時旅順の老鐵山颪は昨今の京城の寒氣ほどにはなかつたけれども旭灣から吹き渡る寒風に戰捷を誇る氣分は實に形容の詞もない、我輩共は明正月の二日を期して老鐵山占領の大決心を定めつゝ攻撃の區署を了つてお正月の祝盃を擧げたのであつた、しかし何分

◆不自由な戰場の

ことであるから酒は日本酒が水筒に一杯宛それを狹い地隙の裡で汲み交したのである、恰もその當夜であつた明日は老鐵山に押し登つて山頭高く日章旗を飜へさんと勇みたつたところへ地隙の裡の晩餐が始まつた、師團長大迫尚敏將軍もよほど悦しかつたと見て曰くおや『第一は松の樹

◆山をしめかざり

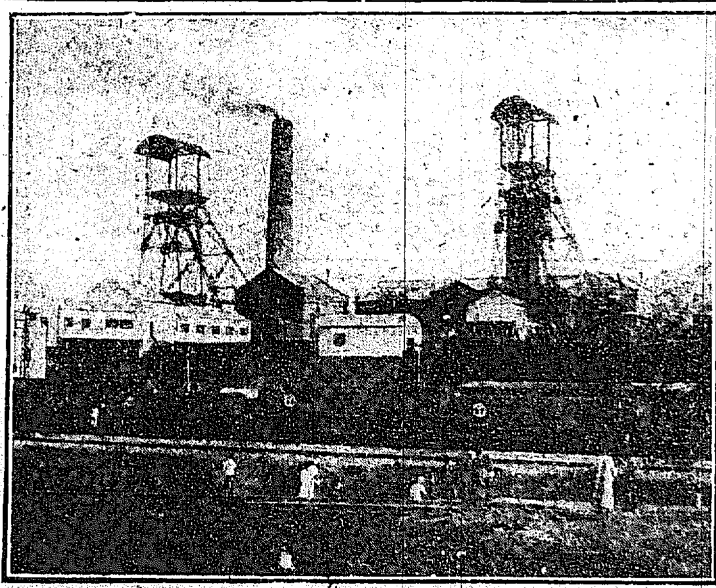
七もおとらお料る矯撓』蓋し狂歌の意味はお隣の第一師團は松樹山砲臺を占領しわが第七師團はまた鳩灣を占領したといふ心ぢやそこで、我輩は引切なしにかゝる電話をきゝながら明日の快戰に勇み立つてゐると俄然一日の夜半に至つて我師團の攻撃動作中止の命令が來た——これは一日の夜半に露軍から

◆旅順開城の軍使

が來た爲めであつた……あゝ鐵血に染めし旅順要塞の地隙の裡、攜帶天幕の下のお正月は今に我輩の記憶を去らぬ

◇十四日から寒い

靑島北西部及渤海灣方面に現はれたる低氣壓は十二日正午より南東に向つて移動したるを以て朝鮮は概ね曇天となり十三日に至り南鮮地方は雨中部以北は降雪ある見込みなり然して氣温は支那東海中部黃海朝鮮西海岸等に部分的に高氣壓發達したるを以て自然温暖なりしも十四日頃に至れば蒲鹽地方の高氣壓發達すると共に北西風起る可く觀測せられ氣温も又下降すべし(仁川)



撫順炭坑大山坑

炎々たる猛火の柱

一千尺の竪坑より天に沖す

焦熱地獄に苦む九百名

撫順炭坑大山坑の爆發は坑内瓦斯の發火に起因し撫順開坑以來の大椿事なり撫順の總出炭量は一日平均五千五百噸にして中大山坑の出炭千五百噸即ち約三割なれば大發火と共に

▲其の採炭中止 の結果は全體の出炭量減殺し影響する所甚大なるべし尤も山元に約五萬噸の蓄炭あれば差當り送炭に苦しむ事無かるべし發火當時の光景は悽慘を極め

▲地下一千尺の 竪坑より熖々たる猛火々の柱となりて天に沖し坑内作業中の日支人坑夫九百餘名の大半は燒死し慘鼻を極む(大連特電)

●床下一面の水

……[illegible]……下出動し同八時三十分漸く防止し……[illegible]

●連絡船上陸客

十一日午前七時十五分釜山入港新羅丸一二等客……[illegible]

十一日午後九時三十分釜山入港さくら丸一二等客……[illegible]

慘事の原因は鐵索に非ず

當局者の調査

客冬平安北道雲山郡北鎭面東洋合同金鑛會社大岩洞坑内に於ける昇降機鐵索切斷十一名の鮮人工夫慘死を遂げたる事に就て爾來其筋に於て綿密なる調査を遂げたる結果今回其原因判明せるが當時の鐵索は客年九月二十八日舊品と取替へたる物にして耐久力は普通一箇年とするも從來會社に於ては大抵七箇月毎に取交ふるを例とせるを以て未だ

▲使用期間 四箇月に滿たざるを以て使用に堪へざるものと認むるを得ず又昇降機の重量は二噸四分の一にして平素十五人を搭乘せしめ特に該礦は鑛石運搬用として使用せしものなるを以て十一名の搭乘者の重量に堪へざるものとも認め難く鐵索は十五條の細線を綯ひて一線とし更に此を六條綯合して一條の鐵索となり居れるが其切斷口各綯合線の纏れ居る點より察するに下降途中軌道上に何物かの障害物ありて昇降機が之に衝突したる瞬間

▲索引勸力 の增大に依り一部分鐵線に破損を生じ降下に伴ふて漸次其箇所擴大し遂に切斷降下せるものと判明せり尚同會社にては變死者の遺族に對し葬儀料を支給したる外自園より百六十圓迄の範圍に於て扶助料を與へたる上生計の方法を講じ遣りたりと(新義州)

●流氷中に舵機を損ず

鎭南浦港頭に小樽丸の損害

本月二日流氷を衝いて入港したる中村組汽船第一小樽丸は急激に來襲したる氷點下二十四度の嚴寒に刻々浮流し來れる流氷に危險を感ずる事夥しく

◆荷役を中止 して四日午前拔錨江外に脫出せんと企てたるが同船は船體古く大膽なる行動より制縛せられ居る關係あり更に當日は西北風激しく

◆避島水道は 流氷を以て塞がれ居たる爲め空しく引返へすの餘儀なき事となりたるが此時不幸舵機を損じたれば是が修繕に兩三日を費す内

◆折から大潮 時に向ひたる事とて各支流よりする無數の流氷浮動し來りて港内と云はず港外と云はず江内一面に充滿し來れるの壯觀を呈したれば碇さへ出港不可能なるに築港内は

◆一面に凍結 し全速力を以て脫出を企てたるも尺寸も進み得ざる破目となり茲に萬策盡きたりと見られしが一方社長中村精七郎氏よりは事人命にも關係する事なれば

◆無謀の擧に 出づ可らずとの電示あり旁解氷期迄空しく艤氷と決したるが何樣海運界多忙の折柄斯くては損害夥しく假りに解氷期を三月十日とするも

◆十萬圓近く の損失を見る事なればとて同組にては碎氷船の廻航を企て滿鐵に交渉する處ありたるが大連港の如きは港外一浬迄の結氷を見居る際とて

◆碎氷船融通 出來得べくも無く斯くて此目論見も畫餅に歸したれば覚に自然に一任する外なき事となりたりと

殘雪——南大門前にて

●六尺鏡城の雪

六十年來の記錄

咸鏡北道鏡城郡朱乙地方は客月二十日早朝より降雪あり殆んど年内降雪續きたる爲め積雪六尺餘に達したり之を八十餘歲なる古老に聞くに今より五六十年前丙辰の年に一丈餘の大雪あり其以來本冬の如き大雪なしとの事なるが丙辰は安政三年にして本年を去る六十年なれば即ち本冬の雪は六十年來の大雪なりと(鏡城)

●景園學の大講演會

十五日日出小學校にて

京城府にては十五日午後六時より日出小學校に於て田村林學士景園學に關する講演會を開會する筈なれば一般の來聽を歡迎する由

●平北に牛疫發生

平安北道熙川郡に今回牛疫發生し當局は豫防消毒に從事中也詳細は後報すべし

●坐礁 秀吉丸 仁川に

十三日午前十時仁川港出帆の秀吉丸は港口に向つて進航中仁川港内外は海陸共に流氷及び雪の爲めに白皚々として目標定まらず遂ひに針路を誤り月尾島及び小月島の中間陸地を距る百餘間の地點に於て坐礁したり損害は無かりしも午後八時頃迄は離礁出來得ざる見込みなりと(仁川)

●夜警の火災發見

京城憲兵分隊管内楊州郡九里面四老里權泰鎬(六十)朴尙喜(三〇)朴鍾泰(四五)の三名は自衛夜警團をして一月七日夜居村を警邏中折柄の烈風に同里黃大天方より發火し居るを發見したるを以て直ちに里民に急報し六十餘名驅付け消防に努め退溪院憲兵出張所よりも憲兵出動し里民を指揮して活動したる爲め幸に延燒なく大天方一戸燒失したるのみにて鎭火するを得たり尙同人方は極貧にて衣食に窮するより面長朴完梱方十八名の有志は炊出し及び家屋材料等を寄附したるが同里にては早晩消防機具を購入すべく寄々協議中なりと

●衝突 碎岩船に 錦江丸

朝鮮郵船會社の錦江丸は仁川海州間の命令航路なるが十一日仁川より海州に入港せんとせし時港内一面に浮流せる漢江の流氷の爲め航行の自由を失ひアヤと云ふ間もなく折柄同港に碇泊中なりし碎岩船に衝突し右舷外板に五尺に三尺の大穴を明けしが幸ひに浸水なく大事に至らざりしは幸ひなりき尙ほ右に付錦江丸は命令航路を休止し其修理を行ふべし

◉櫻井丸難破船を救ふ

仁川港外風浪高し

仁川稅關櫻井丸は七日午後零時德積島へ向け仁川出帆航行中同二時頃に至り北西風襲來し波浪高く雪降り出でたれば航行を繼續する能はず八尾島に避難し投錨せしに四時頃同島沖に朝鮮船一艘風浪に弄ばれ居るを發見したれば直ちに拔錨救助に向ひたりしに同船は乘組員船頭以下七名乘船し居りて激浪の爲め錨綱は切斷せられ舵は破損し全く進退の自由を喪ひ且つ船首より打込む波浪は船内に氷結して暫時も猶豫出來ざる有樣なりしも接近する能はず辛ふじて船頭一名舟子一名乘客五名を救ひ上げ同日は八尾島に避難し八日午前拔錨德積港に向ひ十一日同島より大舞衣島へ向ひ救助人員を上陸させ十二日仁川へ歸港したり(仁川)

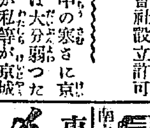
●鐵道倉庫火災

十二日午後七時十分京義線黃州驛(黃海道管内)附屬倉庫より發火し同倉庫便所及び附近露積の貨物若干を燒失し同八時鎭火せり原因失火なるが如し損害額は倉庫及び便所約五百五十圓倉庫内荷物約三十圓露積の荷物は目下調査中なり

●京城演藝會社

設立許可失効

大正四年春頃より古城管堂氏外十一名が發企となり株式組織を以て明治町東拓前空地に建設すべき筈なりし京城演藝株式會社は大正四年七月十三日を以て設立許可を受けたるが會社の定むる期限内に會社設立に至らざるため一月十三日總督府官報第千三百三十七號を以て會社設立許可失効を發表せられたり



此の間中の寒さに京城の人は大分弱つたやうだが私等が京城へ來た頃にはあの位の寒さは毎日で零下何度になつたか知らないけれども風呂へ行けば浴槽の蓋が凍つてゐて金挺で捻ち開ける、それで湯に手を浸して見ると火傷をする位熱うなつてるといふ有樣▲四斗樽の水が一夜に氷つてポン／＼破裂するのは未だしも料理場の俎板の上に四寸も五寸も氷が張り詰めて氷の上で庖丁を使つたもの▲それを思ふと此頃の寒さはまるで春のやうでさあとは二十年程前に京城へ來て今でも引續いて料理店をやつてる七十を越した井門の爺さんの話▲中井鎭城氏は奇行に富んだ人だが先年氏が咸北の道事務官を辭して歸東する時罷官の手續きとして病氣診斷書を出さねばならぬといふわけで釜山の某醫師に診斷書作成を賴むと▲今は都合が惡いといふのでそれでは某料理店に行つて飯を喫つてるから其處へ來て貰ひたいと言ひ置いて料理店に上り藝者を相手に一杯傾けてる內にすつかりいゝ機嫌になり例の太郎の仕込みの踊を踊つたりワイ／＼騷いでる所へ▲やつて來たのは診斷を賴んだ醫者、畑德利林立の中に大陽氣の氏を見るなり少々旋毛を曲げたと見わて診斷を受けやうとする病人が此の亂痴氣は怪しからんとブリ／＼して蹴つたので作病を遣り損ね此の時ばかりは閉口したさうだ

■課題及募集規定

■募集規程 同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は……[illegible]

▲用紙は端書又は……[illegible]

天氣 晴れ一時曇

商業登記公告

主人株式會社漢城銀行ハ支配人中井均ノ支配人ヲ置キタル場所ヲ京城府鍾路參丁目四拾貳番地ニ支配人ヲ京畿道南陽郡龍江面東幕上里參統參戸ト各變更シタリ

株式會社石川縣物產紹介所ハ大正五年拾貳月拾參日各株ニ付金拾貳圓五拾錢宛拂込ヲ結了シ各株ノ拂込金額ヲ參拾七圓五拾錢ト變更シタリ

右大正六年壹月拾壹日登記

支店設置

商號合名會社石崎商店、本店支那安東縣市場通貳丁目貳番地、支店京城府岡崎町拾番地、目的木材賣買、設立ノ年月日大正五年壹月拾參日、代表社員ノ氏名石崎久三郎、朝鮮ニ於ケル代表者京城府岡崎町拾番地石崎治吉、社員ノ住所氏名出資ノ種類及價格支那安東縣市場通貳丁目貳番地金五萬圓石崎久三郎、京城府岡崎町拾番地金參萬圓石崎治吉、忠清北道忠州郡山尺面院月里金貳萬圓石崎四郎、存立ノ時期設立ノ日ヨリ滿貳拾ケ年

右大正六年壹月拾貳日登記

京城地方法院

謹賀新年

大正六年正月元旦

咸鏡南道端川郡水下面龍源里

共益鑛務所

主任 高橋謙

書畫骨董入札

一月十三日下見、十四日正午開札

南山町三 佐々木裝古堂 電二二三

東京商品取引所仲買人

東京市日本橋區蠣殼町一ノ二

〆野瀨久次郎商店

電話浪花(五一〇二、五一〇三番)(五一〇四、長九二一番)

發信電報略號(シメ)又ハ(メ)

受信電報略號トウケイシメ

振替貯金口座東京二四一〇番

再診療開始

昨年十一月以來出張治療中之處患者の希望に依り一月十日より約一ケ月間再び診療を開始す

痔核。痔瘻。脫肛 直腸脫。痔出血。裂痔

京城長谷川町安東病院(電七三)内出張

肛門病注射專門醫院

最新式痔疾根治注射療法參考書進呈

謹賀新年

會席御料理

末廣館

忠淸北道忠州錦町

館主 稻田四馬治

(六十疊敷宴會場の設備あり)

花柳病專門 外科

梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病 睪丸病◉肛門病◉皮膚病 婦人病◉神經衰弱 六〇六注射包皮其他手術毎日 ◉入院隨時 ◉診察無料

京城長谷川町南大門通農銀裏

司生堂醫院

最も信用ある東京三金の靴

ボックス製 長靴 半長 本長

ボックス革製編上 第一號 金六圓五拾錢 第二號 金五圓五拾錢

ボックス革製短靴 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢

ボックス革製雙型 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢

ボックス革製深ゴム 第一號 金參圓五拾錢 第二號 金四圓五拾錢 第三號 金五圓五拾錢

右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造しあれば一般貴紳士靴として好適なり

御注文の節は靴種類と足型の寸法を御通知次第代金引換小包(送料實費)にて迅速御送附す

最新目錄 振代進呈

東京市芝區愛宕下町

三金高等靴店

電話芝一六九〇番 振替東京一七一三番

人參精 人參 其他土產品は本町二丁目大橋商店に限る

附圖 朝鮮鑛業要覽 一部定價 一圓廿錢

朝鮮地質鑛產圖

京城日報社代理部、大阪屋號書店

模範 牛乳

石鹼 洗粉 ニウソ

場主 陸軍獸醫 肥塚正太

京城蓬萊町四丁目

東亞牧場

電話五二番

豚よりも人の子に多い寄生蟲
生物や生水を平氣で飲食するからだ

曩に仁川尋常高等小學校で五百名の生徒に對し寄生蟲檢査を試行した結果一人平均一種類と二分五厘餘の寄生蟲を保有して居る事を發見し

▽父兄をして 一驚を喫せしめたが此れを今回仁川警察署で調べた家畜類の寄生蟲調査成績に較べると如何に人類が彼等獸類よりも多くの寄生蟲を有つてゐるかゞ窺はれる即ち仁川府管内に於て大正五年一月から十二月迄の試驗に徴すれば牛は檢査總數三千百三十二頭に對して千四十一頭約三割三分豚は千三百八十六頭に對し六十四頭約三分六厘に過ぎない此れを前記の小學校

▽生徒に比較 すると牛は約九割三分豚は十二割二分一厘減と言ふ驚く可き差異を發見すり、一體牛馬、豚の寄生蟲は肝蛭と蛔虫、鞭虫ジストマ等で肝蛭は宿主の糞と共に排泄されて水中に發育し續いて纖毛を有する仔虫となつて成熟の後中間宿主なる河貝子の體内に入り畜仔となり畜仔は數多の有尾仔を生じ暫く

▽水中に游泳 中草葉に附著して胞嚢を形成し牛豚などに嚥下されたる場合は胞嚢は胃液の爲めに溶解して虫體は遊離し肝管内に進み入り蛔虫鞭虫の如きも水中及び草葉に附著し體内に入るのであるから理屈から言つても人間よりも寄生蟲を多く有つて居らねばならぬ次第であるに文明人の兒童に寄生虫が豚よりも

▽多く棲息し て居るを謂ふ事は寧ろ不可思議の事であるが此れは幼年は生物や生水を遠慮會釋も無く貪り食ふのと人間の身體が比較的繁殖し易いからでもあらう、然し支那人の如きは絶對的に生物生水を用ひず口を吹く程熱い物で無ければ飲食せぬ良習慣があるから假令文明の程度が低く衛生思想が低級でも寄生蟲やコレラ菌其他の間接

▽傳染の病氣 に罹らない相であるから日本人が豚よりも牛よりも寄生蟲を多く有つて居ると言ふ事は個人衛生の進んで居らぬ反證と見て差閊ねあるまい(仁川支局)

■新年の北京婦人會
一月七日正午林公使は北京在留邦婦人の代表たる北京婦人會員を招待して大正六年年頭の消夏を催したり写眞は公使館の一室に於ける盛りにして第一列右より木部夫人田中夫人橋崎夫人小川夫人川上夫人中林夫人、第二列右より池田夫人中畑夫人兒玉夫人吉田夫人中山夫人鈴木夫人錦鹿夫人牧野夫人奥夫人、第三列右より芳澤夫人船津夫人井上夫人小村夫人飲島夫人阪西夫人の各令夫人なり

◉小學兒童が寒氣の爲に學校を休んだ
南鮮での稀有のこと

忠南保寧郡地方は十二月二十五日以降屢々降雪ありしが一月六日より氣温俄かに

▽降下し 翌七日の如きは零下十一度を示し同日午前三時頃より降雪甚しく八日午前八時には積雪八寸となり倘桃花灘地方にては一尺四寸に及び該地方數十年來稀有の降雪なりしが爲めに郵便物も定刻不著にて公州大川間は一日遲れ洪城大川間藍山大川間も同樣各一日宛遲著するの已むなきに至れりと倘論山郡地方に在りては一月八日積雪七寸にして朝夕の頭は零下二十一度の下降を示したる日もありたり同地

▽錦江の 本流なる林川渡船場同支流備岩渡船等は何れも氷結の爲め渡船中止せり倘小學校生徒も二學年は約半數の缺席三四學年生も三分の一位の缺席者あり爲めに授業も定刻より一時間遲れて開始する程なりしと

◉道場の鏡開き 平壤在鄕軍人分會員其他有志の組織に關する平壤武德會寒稽古は開始以來非常の盛況にて會員何れも元氣旺盛にて毎日熱心に稽古中なるが來る十五日午後八時より鏡開式を黄金町演武場にて行ふべしと云ふ

神社とお寺と教會

▲春宵會初運座 十三日午後六時より龍山鐵道倶樂部に於て鐵道局員より成る春宵會の初運座を開催

○東本願寺(南山町) 十四日午後二時より婦人會あり猶ほ午後七時より日曜講話ある由

○曹洞宗別院(若草町) 十四日午前十時より從宗餘の提唱あり

○西本願寺(若草町) 十四日午前十時より日曜學校午後二時より總行宗の報恩講あり猶ほ午後七時より御内佛の報恩講あり

○妙心寺(長沙洞) 十四日午前十時より無數拉論の提唱ある筈

○聖公會(南米倉町) 十四日午前十時より總祭式說教「顯現期」トロツブ主教午後(へ時より日曜學校猶ほ午後七時半より晩禱「傳道說教」

○京城日本基督教會(長谷川町) 十四日午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教「播種者」非口牧師午後七時より傳道說教「來任の生活」同牧師

○救世軍京城小隊 十三日午後七時十五分百三十銀行支店前にて「我は悪の宗教を信ぜず」石島大尉 十四日午後七時四十五分永樂町二丁目通隊内「聞る、別れ」石島大尉夫人

○メソヂスト教會(旭町二) 十四日午前九時より日曜學校午前十時三十分より禮拜說教「我々人の血」藤岡牧師午後七時三十分より傳道說教「我等何をなすべきか」同牧師

○龍山日本基督教會(漢江通) 十四日午前九時日曜學校、同十時禮拜說教、午後七時傳道說教

商況

東京公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◉爆發と撫順炭

◉綿布品不撚

◉内地酒高模樣

追々現狀維持の困難を訴へつ

經過し來り今日迄殆ど實行されず

處ならぬ先づ二圓の下鞘

入期を早むる新酒移

給炭上に何等支障

在荷缺乏に品不足

揃約定を手控へ結果

◉春夏の太物高 平年に比し二割乃至五割高

染料及び工賃の騰貴 等相集に供給不足 綿糸生糸

五分增で大抵一割

色柄等の流行變遷 氣道約二割高

◉牛皮は中物安 中皮は却つて二三割安を報ず

◉毛皮新高値 一躍八十錢の高値 舊正前の大需用に原因

◉淺草海苔は不作

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場

大五仲買店

生魚市場

仁川期米 十三日前場 大阪天候晴天前寄十六圓九十八錢と昨止より五錢高入電二節九十六錢

仲買店

市場零聞

▲依然保合

▲前場の手振

仁川米豆取引所

青物だより

▲今續て賣る

▲能く買ふ

▲㊦の商内

▲㋐の商内

▲㋷の商内

▲當限受渡豫想

内外の受渡高は二萬石

方に賀田筋の緊き米に對し買

▲展開未だし

綏弱保合人氣安の割合に

籾の入津杜絶

〔演藝案内〕

京城壽座

御成座

稻荷座

浪花館

大正館

黄金館

梅毒 痳病 化學應用自宅療法 簡易迅速經濟
効力非凡にして而も身體には安全なる化學的内服劑
■初期梅毒は横痃の出ぬ内局部限りで安全に治る
■慢性で體内に蔓延潜入して居る梅毒も又は頑固に外發して居る梅毒も一舉に殺菌的大消毒が行はれて目に見えて迅速に治癒し清淨無毒になる
△痳病にも現代最善の新特効藥あり
ハガキに梅毒又は痳病と病症記入し申込あれ
非賣品…彩色圖入說明書…秘密封送す
無代進呈
東京市本所向島小梅町 東京藥化學研究所

脳病良薬 レーベン
醫學博士岡田先生を初め陸海軍醫并に醫學諸大家が有効證明を有する良劑にして日本人の體質に適合すべき絶好の良劑なり、腦病神經衰弱、ヒステリー患者は論より證據、最終の試藥として直ちに試よ●藥價三十錢、五十錢、八十五錢、一圓六十錢、三圓、五圓五十錢、各地信用ある藥店にありなくば本舖へ
發行所 東京市京橋區弓町廿二 弘濟藥院 中南定太郎
支舖 大阪市東區安土町堺筋 弘濟藥院 中南定太郎

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
日曜祭日午後二時迄
江頭眼科醫院 江頭富雄

鑛山及船舶業
食塩輸入販賣
平安南道新安州
合資會社 藤井組
社長 藤井千城

木材値上廣告
本年一月一日より營林廠の木材價格を一割五歩乃至二割方引上相成候に就而は已を得ず當組合員の販賣價格も同樣の率に値上致候間此段謹告候也
京龍木材商組合

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目
增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黄金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

新築移轉
明治町二丁目 元川崎病院跡(京城大正醫院下横)
產科婦人科專門
中央婦人病院
(手術室病室各等完備)
院長 衣笠 電話二三四〇番

期米 大阪堂島米穀取引所仲買人 曽我商店

山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

明君道中記

第二十八席　田邊南龍口演

徳川家康公は南光坊天海大久保彦左衛門の兩人を左右に從へ將軍秀忠公を始め義直、頼宣頼房公をお召しになりました、此の義直公は後年尾張の御先祖にお成り遊ばし、慶長五年十一月二十八日伏見に於てお龜の方と云ふ方のお腹より生れ御幼名を五郎太丸と仰せられました此時御年十七歳であります、其の次ぎが紀州頼宣公、此のお方は慶長七年三月七日山城の伏見の城に御誕生遊ばしお萬の方のお腹であります、御幼名を鶴松丸と申して只今は常陸介と仰せられ時に御年が十五にお成り遊ばす、頼房公は後水戸の中納言只今は鶴千代丸と仰せられまして慶長の八年八月十日是亦伏見の城にお生れ遊ばし今年が十四にお成りなさる、此の三公子を御前に召されまして將軍家に對し家『此の三人は幼弱にいたして予が悉く寵愛秘藏此の上もなきものである、家康が亡き後は何分勞はりくれる樣に』と御依頼に相成り猶三公子を膝近くお召し遊ばし『汝等に於ては父亡き後は將軍家の保護を受け忠義を忘つては相成らんぞ』と細やかに御遺言あらせられました三公子は涙と共にお受けをいたしお傍を去らず種々御介抱を申し上げる、猶亦此時に御孫の竹千代君國松君の兩人を側近く召して竹千代君の手を取つて家『御身は幼くも三代の跡目を相續すべき者、仁義の道を專として政道を過つことなかれ』と仰せられて、何事も落ちなく御遺言遊ばされまして其後はお心が休まつたものと見え、何も仰せられず只うとうとしてとうとう元和の二年四月の十七日巳の刻に薨去として御他界に相成りました、時に御年七十五歳將軍家を始め奉り一統の歎きは一方ではありませんが、最早云うても返らぬことで遺命に從いまして久能山へ御尊骸を移しました、本多上野介、松平衛門大夫、板倉内膳正、秋元但馬守の四人相後に供奉いたし二代將軍家の御名代土井大炊頭利勝、尾張義直公の御名代成瀬隼人正正成紀州頼宣公の御名代安藤帶刀先生直次、水戸頼房公の御名代中山備前守信義、金地院崇傳南光坊天海、神龍院梵舜是等の人々先立つて久能山へ來つて萬事を計ひます、茲に先づ御尊骸を葬りました、十九日に二代將軍家御參詣大工棟梁中井正次に御廟を仰付られました、廿四日始めて江戸表へお歸りになつて、家康公の御法號を安國院殿徳蓮社崇譽道和大居士、元和三年二月勅詔が下つて東照大權現の號を賜はり、同年三月正一位を贈られました、又四月改めて日光山へ其靈を御遷し申し正保二年十一月十一日再び勅詔があつて宮號を賜はりまして東照宮と申し上げます、偖秀忠公は江戸にお歸りになつて間もなく竹千代君西丸へお移りになり、十六才の時に御元服あつて位は從二位官は大納言家光公と申し上げまする、國松君は甲州府中に於て廿八萬石を給はり甲府宰相忠長と申し上げました、秀忠公は專ら仁慈を施す方であつて餘り此の御方が御在世中は諸侯の家を取潰したなぞといふことはございませんが、茲に無據して現在御自分の御舍弟である上總介忠輝公の家を取潰したお話しがある、此は越後國頸城郡高田の城主高五十五萬石松平上總介忠輝と云つて家康公九番目のお子樣で御幼名を竹丸君と申し上げ、後に上總介に御昇進遊ばし御性質大力御勇猛のお方自然と御氣性も荒々しく御行狀が洵にお惡うございます、此頃よい天下の諸侯方は彼は徳川の巣守だと云ふ綽名を附けました、何で巣守だと云ふに鶏が月に十二ツ、玉子を産みまする、其の中に一ツ孵化ないのがある、多く數ある中には出來損しもある』と申す事を云つたものでございます

入院隨意
京城南大門通三丁目（暁本商店横入る）
胃腸病院
電話一六五九番
院主　佐々木杏造

醫院開業
■内科、小兒科
入院隨意
酒井醫院
院長　酒井鼎
京城旭町一丁目
元中央婦人病院跡
電話二五四一番

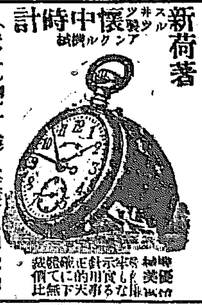
一月十五日　九星
舊十二月廿二日　丁巳
本命九紫　南　定　先負

▲九紫　眼のくろふ事有る日新事見合西方は吉　賭銭南▲一白　かけ引負の事有る日注意新事手控所事は吉　一切のかけ事を禁ず▲二黒　願の神の申込日　轉居旅行入學名弘求職造船婚禮定期業▲三碧　奏効の日轉居開業求職名弘金件婚組　説服を受る等皆吉▲四綠　程よき日轉居開業等皆吉　女子の心美を顯はし立身を致す大いに據ふべきの日也▲五黄　慈善心の起る日轉居行商入門名弘婚禮金件談等事業を計る等萬吉▲六白　謹の日新事手控常の事は吉衛生に注意せらるべし▲七赤　不所存な事有る日注意新事手控　[illegible]▲八白　目的のたつ日　轉居旅行入學名弘求職金件婚禮特許出願等萬吉

京城學校組合告示第壹號
京城學校組合區域内ニ居住スル内地人兒童ニシテ明治四十三年四月二日ヨリ同四十四年四月一日マデニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヨリ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日限リ京城府學務係又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ
大正六年一月十日
朝鮮總督府府尹　金谷充

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御需に應ず
京城日報社　寫眞製版部

一、物品修理公告
一、荷車々輪修理　壹百個
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府内ニ於テ國税、地方費、府税、學校組合費年額拾圓以上ヲ納ムル者ニシテ壹年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ入札ニ附ス希望ノ者ハ本府會計係ニ就キ仕樣書現物等熟覽ノ上同月拾五日午前拾壹時限リ入札スヘシ
此契約ハ朝鮮總督府府尹金谷充擔任ス
大正五年壹月拾日
京城府

新荷著
スイス製ツル井ア
懷中時計
ウンクル機械

(ニツケル側)十八形(片蓋)　一圓九十錢
同　同　同　二圓五十錢
[illegible]
右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して願はくは急速御用命被仰度候御地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送附申上候
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
イングレツシー商會
本店　京城本町二丁目　電話九七三番

醇良清酒

大阪府堺市
釀造發賣元　肥塚源次郎
京城本町二丁目
特約販賣店　佐藤牧太郎
同　本町三丁目
特約販賣店　明治屋支店

新荷著
保税品有
青酸加里
水銀
京城本町二丁目
釘本藤次郎本店
電話四五・二七七四
振替京城二二五六

學者の創製したる
美顏ユーマー

愛用者の寄書（續き）

（其九）　東京　二見露子

私は朝は非常に忙しく、ゆつくり御化粧するひまがありませんから、洗面後美顏ユーマーを塗けておきますと、一日中顏色が活々として美しい色艶を保ちます。私の樣な忙しい者にはこれで十分でございます、夕方はひまですから、入浴後美顏白粉を美顏ユーマーで溶いてお化粧します。伸び心地がよく思ひのまゝ美しくお化粧する事が出來ます。殊に不思議なのは、毎年夏には吹出物に苦しめられますのに今年は一つも出來なかつた事です

（其十）　同　山本志滿子

去年の春御年玉に頂いた美顏ユーマーを何心なく使つて見た所それ以來離されない品になつて、今尚愛用して居ります。私の第一嬉しく感じたのはわざとらしくない香り、そして濃い液に拘らず使用後のさらりとして氣持のよい事、朝晩缺さず使ふ爲か、元來荒れ性の私の肌が一變して、見違へる樣に艶々して、皆樣からどうした譯かと不思議がられる程になりました。白粉などは外出の外必要の無い位です。素顏の美とはこんなのではないかと眞に感じました。

右は先頃有力なる婦人雜誌上にて、美顏ユーマー愛用の方々に對し、ユーマーに就ての經驗又は感想をお尋ね申上げた時寄せられた、非常に多數のお答の中のものであります。愛用者の實際の御經驗を澤山に伺ひ得た事は、本舖の喜ばしさに堪へぬ所でございます。

大阪　桃谷順天館　東京

贊化病院
京城本町二丁目
電話二四二番
醫學博士　古城憲治
同　醫學士　上野亮藏
内科
小兒科
入院隨意
毎日五名を限り無料施療す

東京で一番よく賣れる美人となる化粧料はホーカー液
本品は畏くも宮内省御買上の光榮を有し衛生博にて名譽金牌を受領し到る處の信用ある、小間物店雜貨店にて一番よく賣れる美人劑なり

味噌の横綱
ほまれみそ

京城日報
第三版
一月十四日（夕刊と合せて八頁）
定價 本紙一部金三錢 一ヶ月金六十五錢 郵稅 一ヶ月金十二錢
廣告料 五號活字一行金八十錢
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

仁川期米
▲結局保合 ▲大に賣る ▲能く買ふ ▲場面底強し
三月限 七萬八千五十石
四月限 五萬三千四百五十石

京城論壇

蒙古語と蒙古の音樂
朝鮮語研究と蒙古語の比較

東京帝國大學理科大學講師 鳥居龍藏

△蒙古の事情は以前私が往つた頃よりも昨今はだいぶ世人の注意を惹くやうになつた。折角のお尋ねにより蒙古語に就いて聊かお咄しを試みて見ませう。併し順序も何もなくホンの平易な事ばかり記しますから其の邊は御承知ありたし。

△蒙古語は申すまでもなくウラルアルタイ語の中に這入るものである。而して日本語、朝鮮語、滿洲語によく似てゐることは恰度兄弟のやうな關係にある。併し不思議なことには近いお隣の支那語とは大ぶ趣きが異ふやうである。今日でもウブな蒙古人は支那語を知らず、また全然支那語と關係がないのは不思議なほどである。元來蒙古人の中には大元皇帝が進出して支那に臨んでゐたこともあるのに蒙古に用ゐられた支那語としてはわずかに器物の名前位のものである。此の點は頗る蒙古人の國民性の強いところでよろこぶべき點かとも思はれる。

△それ故に蒙古語の研究には歐羅巴人よりも支那人よりも日本人が一番容易な譯であつて、文法も亦日本と同じことである。それで日本語の言ひ方に蒙古語をもつて來ればそのまゝ蒙古語になる譯で、此の點は動詞を上にかへるやうな支那語の表現法とは大に異ふのである。

△また蒙古語と日本語とには單に文法上の同一點のみならず古い古事記萬葉集あたりの言葉になると單語そのものにも頗る類似した共通の點を見出すに難くない――これは朝鮮語とも同一であるが――その例を擧げて見ると日本語の機といふ言葉は古い時代にははた、かはた、などと云つて衣服の意味であつたが蒙古語でも衣服の意味である。またうづのみなどといふうづが尊いといふ意味になるのも同一でやそびらかのびらかと土器の皿なることも同一である。斯の如く蒙古語が日本の古典的な言語と同一であるのは日本語の方はその後だん／＼時代と共に變化したけれ共蒙古語の方には變化がないからであらう。

△次に文法の同一な例を擧げて見ると『私は車に乘つて行く』といふ言葉はビー（私は）ツルグー（車）オツタ（に）サゴ（乘つ）チヨウ（て）ヤゴナ（行きます）である。即ち日本語の文法と同一である。それに蒙古語には動詞形容詞の複數がない。また『われ／＼が』といふ時はビー（私）がヒジンになるのである。併しながら言葉がかへらぬといふても命令語の中には日本の『な何々せそ』といふ體のものがある。

△次に蒙古語には日本の如く文語と口語の別がある。即ち書物、手紙、布告等に書く文語は平素の口語と相違するのである。また蒙古には蒙古固有の蒙古文字がある。併しこれは一般の人には多く讀まれず唯だ少數の學問した人に限られてゐるやうである。今は滿洲語及び滿洲文字が亡びた故、滿洲文字の實際とは比較がむづかしいが、恐らく兩者同一であらうと思はれる、殊に滿洲語は蒙古語からとつてゐると思ふ。

△猶ほ蒙古文字にはいろ／＼な書方があつて例へば日常手紙の文字と看板の文字とは異ふのである。そして日本文字で假名の『トリキ』と書くところを三字一つにくいつけて書くのである。故に一つの名詞は文字では一綴りに現はすのである。

△それから蒙古では地名を聞けば其處が如何なる場所であるかゞ解るのである。例へばナラソタイといへば松の樹のある處といふ意味でナラソは松、タイは處である。また外蒙古の中央にタルバガタイといふ地名がある。此處は狸のやうなタルバガ獸が棲むといふ意味で土地の樣子が地名で解る。またハラモトといへば黑い樹といふ意味でそのあたりは大森林なることが解り、チヨノツオツソといへば狼の水といふ地名で其のあたりが一帶にぢく／＼した水澤たることが察せられる。

△蒙古人の唄はまたなか／＼面白い。蒙古人はその唄ふところの歌詞や節によつて何處の蒙古人なるかを知られる程で日本に伊勢節、出雲節あるが如く地方／＼で特有の唄を有つてゐる。就中興安嶺山中の唄などは最も特色あるものである。由來蒙古人は殺伐一方の國民かと言ふに決して然らず、其の歌詞などを聞いて見ると出陣に際して父子兄弟愛妻に分袂れるやうな歌から戰陣戈を横たへて故郷の空を偲ぶといふやうな風流な歌もある。

△それで蒙古の各王室に行くと必ず數人の即興詩人が居つて客に對して歡迎の歌を作り、それを樂器に合して唄ふのである――例へば此の遠來の客は何處の遠いところから御座つたのか、遠い山々、深い溪川、路のいくつを越えたのであらう……といふやうな文句がある。

△蒙古の樂器は日本の三味線のやうなもの、頭に馬の彫刻を施したホツレイといふのである。北支那では馬頭琴と稱し、[illegible]琴といふのであるが蒙古人は天幕の裡で馬の毛の絃を以てこれをゆるやかに奏でるのである。其の餘韻ある低いバースの音は蕭漠たる朔北の曠野と調和して實に面白いものである。節は北に行くほど日本の追分節に似通つて來る。現時支那人の用ふる胡琴の如きもむかし元時代に蒙古から傳はつたものであるが、蒙古人の唄は支那人の如く絹を裂くやうな高い音では唄はぬやうである。それに漢詩などによく出る胡笳を聽くといふのは蒙古の尺八のことであるが、日本の尺八と比較して長く且つ日本のやうに疳走らぬところの低い／＼音が出る。若し其れ蒙古の原野を旅行する人にして此の優長な哀愁をそゝるが如き北方音のメロヂーを聽く時は一種の感慨に打たれざるを得ない。

△這回日支間の問題となつた鄭家屯の如き滿洲寄りの蒙古になると住民も實にクチ臭いものであるが、蒙古の奧地に行くと羊、馬、牛等の夥しい家畜を有つた蒙古人がゐる。彼等は生活が氣樂であるところから馬頭琴を奏でつゝクミスウと稱する馬の乳で醸した酒を汲みつゝ唄ふのである。蒙古人はわが隣邦人の如く武骨な一面にまたなか／＼の風流氣があるが女は樂器を奏でることをせず專ら唄ふやうである。彼の日本の三絃味や胡弓の如きも皆此の馬頭琴から來たものであらう。

△蒙古人の歌には歌詞でない韻を踏むだものが尠なくない。例へば『よういよい／＼、よういとさー……これわいさー』の如きを盛んにうたふ。此の母音調和のヴオカルハーモニーは他の土耳古語、滿洲語等を始め總てのウラルアルタイ語に用ゐられてゐる。

△元來蒙古語ではヴオカルハーモニーによほど注意してゐると見えて全體の言葉が佛蘭西語のやうに頗るなだらかにやさしく響く。これは單語の語尾の父音、母音、中音の別があつて例へば單語の語尾がオとアの音であるときは父音となり、ウとエの時は母音となり、イの音なれば子音と區別し、子音で始まれば皆子音で了る例となつてゐる。故にアマノカグヤマ（Amanokaguyama）といふ言葉は蒙古では必ずアマノカゴヤマと云はねばならぬ。即ちマアとかカアとかアの字のつく父音の中にグッの如き母音の混ることは蒙古語になきところである。

△それにてにをはの如きも單語の音に順應した口調を用ふるので頗るなだらかな言葉となる。それで蒙古語の發音では單語を識らざれば一語の意味か三語の意味か不明なことが往々出るのである。

△此のヴオカルハーモニーは朝鮮語にも無論あるたらんも今の鮮語は支那の文化に化せられて多く固有の言葉を失うてゐる。例へば千字文の山の音の如きも支那語のシヤンといふ發音のみ知つて朝鮮のむかしの言葉は知らぬやうである。私は朝鮮語を學術的に研究する人は是非共ウラルアルタイ系に屬する土耳其語、ツングース語、滿洲語、蒙古語を比較研究する必要があると思ふ。

△然らば蒙古の文語と口語とは如何といふに文語は純外蒙古の語である。之が蒙古の口語と分れたに就ては理由のあるもので、元來大元皇帝となつた成吉斯汗は今の外蒙古から起つた爲に元の文書には皆その郷里の言葉をかいた爲めに同じ蒙古語の中にも文口二種が出來たのである。此こと恰もわが平安朝時代に假名が出來て專ら京都の言葉をかいたから京の新語が特別に出來たのと同一である。今でも外蒙古の北方に行くほど言葉が叮嚀で發音も長くなるのである。

△また同じ蒙古でも北と南では大分樣子が異つて來る。殊に著しいのは北のKの音が南ではHの音に變ることなどもある。風俗も南方の者は蒙古特有の騎馬を捨てゝ車に乘るのが北方蒙古人はこれをイルグンテと稱し支那人に化したと卑めてゐる。イルグンは蒙古語の奴隷の意味であつて由來蒙古人は耕作し車にのる支那人を蔑視すること甚しく、朝鮮人が支那に對し大國人の敬稱を用ふるとは大に趣きを異にしてゐる。序に蒙古人は朝鮮のことをシラオロスと稱ぶ。オロスは國の意、シラは新羅のことである。往年蒙古人が新羅人と交通したときの稱呼が今に消えぬのであらう。

△要するに蒙古語と日本語とは兩者共あまり縁遠き言葉ではなく姉妹でなくば叔父甥の關係はあると思ふ。それに朝鮮語を挿むと猶ほよく兩者の聯絡が解るのである。朝鮮語と蒙古語の類似は朝鮮語のトル（石）が蒙古のチヨローであり、タル（月）がサラアである等類似の點は頗る多く見出されるのである。彼の朝鮮の摺軍の如きもクンは蒙古文語のクムン（人）で口語のフン（人）である。

△恁麼朝鮮語と蒙古語との關係は頗る研究に値することゝ思ふが、往々朝鮮語中には固有の言葉を失うてゐるので困る。私の考へではその半分以上は支那語の發音をうけてゐると思ふ。併し眞當に朝鮮語を研究するには蒙古語、滿洲語を比較研究してからやらねばならぬと思ふ。幸ひ總督府編纂課の小倉學士の如き篤學の士も居られるけれ共將來京城が學術の中心地となるには一人二人の蒙古語學者が必要であらう。これは實用と云はんよりも寧ろ言語學的に他の姉妹語と比較研究するに於て必要である。

『大正の青年と帝國の前途』を讀む（十五）

大谷光瑞　十二月十二日上海に於て

有史以來、明治の教育勅語の如き完備せるものなし、以て國家を治むべく、以て一身を作むべし。古の堯典、舜典を以てするも、之に加ふるなく、印度無憂大王の勅語を以てするも、纔かに轍を摩するに過ぎず。武器は完全なり、而して戰敗るゝは何ぞや、是將士の資劣るなり。古來儒あり、大規模の孔子教を狹めて、後人の笑となる、孔子は王道を說けり、是に由らば、兩河百郡、余の有に非ざるなり、而して之を捨て、恣に狹め、遂に浙閩に殘喘を保つに過ぎず。王者は敵なしと、何ぞ知らん、四境皆敵なり。王化は荒服に及ぶと、實は何服すら猶及ばず。而して門弟を集め、讒謗を講じ、自ら孔子の眞髓を得と謂へり。孔子の道此の如く狹小ならば、世俗を逐はるゝ理あらんや、陳蔡の間に餓るの要あらんや。孔子王道を說く、當時王者無し、故に容るゝ所とならず、放浪顚流するや宜なり。宋儒の如き小ならば、列國何の處か容れざらん、彌亦之を逐はざるべし、宋は弱、衰ふと雖も、猶支那の三分二を有せり、後南渡すと雖も、猶半を有せり、是時孔子の道を講せば、岳飛を殺さゞるべく、秦檜を相とせざるべし。夫れ宋を滅すものは、遼に非ず、金に非ず、元に非ず、實に儒なり。今の世教育勅語を解釋する者、孔子の宋儒に非ざれば、我帝國の至幸なり。今擧世皆云ふ、修學年間久しきに過ぐと、實に然り、是有用の才を擧て、無用の蠹窟、桎梏の中に置く、故に近年當局者、朝野の賢能を集め、是が短縮を議せり、實に適當の擧なり。然れども其坊間に傳ふる所を聞くに、多くは中學卒業以後を短縮せんとするが如し。高等の學業も短縮し得べくば幸なり、然れども其益を蒙る人は、少數にして、國家の利を享くるは輕し。不肖は中學を短縮せんとす。今の中學は、高等普通の學を修むるを目的とすと云ふも、實は殆ど專門學校の豫備教育に近し、而して之れを豫備教育に當んとせば、又不可なり、然れば甲に非ず、乙に非ず、兩ながら非なり。東亞非利加にヲカピジヨンストニーと名くる動物あり、軀幹の上半は鹿、山羊の如く、四肢は斑馬の如し。今の中學教育は、ヲカピの類なり。ヲカピは奇獸にして、十數年以前は、其新發見に驚けり、新奇は必ずしも良好に非ず、寧ろ牛、羊、馬、驢の上古より人の用をなすに若かず、故に今に至て人のヲカピを畜ふ者なし。

日報詩壇

丁巳新年口號　金昌洙

潤葉樹宜今造林。擴張苗圃好方針。松毛虫害廳消滅。藉出三分化綠陰。
農村啓發務栽桑。離際畦間沃葉蒼。前日深閨閒婦女。偶凝心篤便携筐。
南土宜培陸地棉。增收高價自年々。比諸豆作優三倍。貫市歸來議買田。
牝牡優良設種牛。增蕃畜產好爲謀。農耕搬運俱便利。終見家々繫一頭。
手法輕々藁細工。農餘長夜樂無窮。莫將斯業等閒視。小富必從勤儉中。
僉稱地主問題佳。保護小農如一家。若準條章行以實。雙方利益不纖些。
士大夫家子與孫。飜然覺破舊迷昏。普通教育緣修了。實業界邊思想存。

評曰、此詩題曰新年口號、而首々請來、議論整齊、辭句精練、寔是堂々大作、可觀可畏。

疾病に惱む人は乞ふ來りて本器の偉効を試み給へ

治病界之革命
酸素療器 オキシヘーラー 代理店新設
（登録商標）

△酸素療器オキシヘーラーは電氣の感傳作用に由り人體を磁性的に磁性化して空氣中の酸素吸引力を增大し兼て血液との親和を自然的に行はしめ酸化作用を强進し新陳代謝を旺盛ならしむるを以て生理機能を整調し諸疾病を根治せしむるのみならず體質の改良を期する物理的疾病治療器なり

△酸素療器オキシヘーラーは其効力の顯著なる事使用僅か五分間にして三乃至五ミリメートルの血壓を亢め一時間を繼續すれば十乃至三十ミリメートルの活力を增進し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに實に空前の偉力を有す事實は最大の雄辯也使用者は忽ち脈搏強實となり全身の溫腹呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、兩便の快通、食慾の亢進、活力の充實等生理的本能を回復する事の神速なるは實に奇蹟的なる事實也

△酸素療器オキシヘーラーは創製以來既に滿三年餘を經て江湖の信用愈々厚く全國の各階級を通じて使用者日々に激增し然かも悉く的確の効績を擧げざるはなく名聲實に嘖々たるものあり朝鮮に於ても多數の愛用者を有し齊しく顯著の効果を認められつゝあれども尚一層全般に本器の効力を普及すべく今回左記に特約店を新設し器械の性質効能に關する質問に應答し、販賣、實驗、賃貸等一般の需用に應ずる事とせり疾病に惱む人健康を欲する士は乞ふ來りて本器の偉効を實驗せられんことを

▣オキシヘーラー治病範圍▣
オキシヘーラーは生命の根源たる酸素を供給し血液との飽和並に酸化作用新陳代謝等を盛んならしめて病原菌を殺滅し退行變性産物勞廢瓦斯等を各排泄機能に依て排出せしめ以て人間自然の健康を回復せしむるにあれば其治療範圍極めて廣く生理的欠陷より生ずる一般疾病を全治せしむる偉力を有す

▣オキシヘーラーの特色▣
一、オキシヘーラー（は構造頗る堅牢にして耗するものに非ず）効力永久不滅、電氣の如く使用の都度に消
一、オキシヘーラー（は使用に當りて何等藥物の併用を要せざれば器械購買以外永遠に他の費用を要せず）
一、オキシヘーラー（は使用法簡便にして隨時隨處に應用し得然かも更に何等の副作用を伴はず）

オキシヘーラー壹器　正價金參拾五圓
同　實驗料　一回金五拾錢（但し第一回は無料）
同　賃貸料　一週分金壹圓五拾錢

京城櫻井町二丁目二百廿番地（本町四丁目交番北入）
オキシヘーラー朝鮮特約代理店　酒本保全堂
電話二五三二番。振替京城三三九八番

▣詳細なる治病實驗例附說明書進呈す▣

タイヨー萬年毛筆
曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

▣オキシヘーラーは富と健康とを齎す天使也▣

漢文註釋全書

第一編
文學博士三島毅先生著
三島 論語講義
新四六判六百餘頁總クロース天金函入　定價壹圓貳拾錢　送料八錢

漢文は第二の國語にして其思想は我國風教の基礎也、漢學の學ばざる可からざること亦喋々を要せず。由來漢文の註釋に、解義に二三の良書ありと雖、或は高尚に流れ或は卑俗に失し現代人士の需要に適するもの少し、本社之を慨し斯學大家に嘱して本全書を刊行す、其解釋の懇切にして權威あり、其體裁の雅美にして至便なるに至ては一たび之を手にする者の愛嘆措く能はざる所也。

中洲三島先生、出でては朝廷に帝王の學を講じ、入ては二松學舍に後進を誘掖し實に我が學界の耆宿たり。本書は博士が多年學徒に致へて儒教の本源を闡明せられたる講義の精粋にして論語に關する先儒の異說を比較研究し博士一家の識見を以て最も明快適切なる斷案を下し懇切周到に解釋せられたる本邦唯一の名著也。附錄として儒學に關する論説數十篇を收む苟も儒學を知らんとする者必讀を要す

第二編
學習院教授 岡田正之先生
慶應義塾教授 佐久節先生　共著
訓釋 本朝名家詩文
新四六判八百餘頁總クロース天金函入　定價壹圓五拾錢　送料八錢

本書は本邦大家の手に成れる漢文漢詩の名篇傑作を選集し訓讀、字義、講義の三部に分ちて詳密なる解釋を加へたるもの也。收むる所凡て是金玉の文字、或は遊覽の記あり、或は弔の作あり、偉人傑士の傳記あり、風流文雅の韻事あり、市井日常の諺語あり、趣味津々として盡くる所なし。學生諸君の自習用に適するは勿論、苟も文學に趣味を有する者は須く隨所に精讀して詩文の大體に通ずべき名著なり

東京市神田區小川町二三　明治出版社　電話本局[illegible]　振替東京[illegible]

鄭家屯事件愈解決？

一切の細目を議定す

十二日午後北京外交部に於て林公使と外交總長伍廷芳氏と會見鄭家屯事件に關する一切の細目を議定したるを以て近日中公文書を交換して交渉の結末を告ぐる事となるべく今後再び會合の必要なかるべしと（北京特電）

軍國主義を一掃せん

羅馬に於ける英首相の演說

英國首相ロイド、ジョージ氏は羅馬ギルトホールに於ける演說に於て宣言して曰く「獨帝は民心を欺かんが爲め國民に向つて聯合國は獨逸の提案せる講和條件を郤けたりと言へるも吾人は未だ其の條件なるものを見ず吾人は飽迄眞の平和を切望す而して羅馬に於ける聯合會議は其の任務の如何に大なるかを覺知し且つ其の結果は吾人が最後の勝利者たるべきを疑はざるに至れり尤も總ての形勢の上には多數の困難なる障碍あるも吾人は之に對して諸般の準備を整へ今や聯合國は若し戰に堪つ事困難なりとするも破るゝ事の不可能なるを感ずるに至れり偖此の會議に於て聯合國代表者は普魯西軍國主義の危險を世界より永遠に一掃し名狀し難き專制政治より歐洲を救濟せんとする牢固たる決心を表白されたり氏は更に語をついで聯合國は益々英國に信賴せり而も余は敢て自ら此の信賴の言の失當に非ざるを確信するものなり我海軍は一千九百十七年中敵の海賊的行爲に對し敵の貿易及び商業上閉塞的打擊を加ふることに相當手段を施すべく倘我勇敢なる陸軍は今後適當なる後援を得ば必ず總ての障碍を排し御勝の途を開くべし又公債の成功は戰爭の期間を短縮し人命の損害を減少し延ひて英帝國及び歐洲文明を此の危殆より救ふを得べし要するに將來は各國とも平和を破る者を卽刻懲罰することに協同努力せざるべからずと云々此の演說は長時間に亙り終始喝采を以て迎へられたり（倫敦電報）

獨潜艇印度洋に現はる

十三日門司某所に達せる孟買よりの入電に依れば印度洋に二隻の獨逸潜航艇現はれ同方面の航海者は大に注意を拂ひ居れりとのことなるが若し同潜航艇にして今後同方面に出沒し居らんには東洋歐洲の航海は杜絕するに至るべし（門司特電）

首相黨首會同

寺內首相は十五日正午永田町官邸に於て三政黨首領と會同午餐を共にする事に決したるが其の際首相は對支問題に關する今後の方針を說示すると共に外交問題に關しては政黨政派の如何を問はず擧國一致の步調を執り度しとの希望を述ぶる筈なりと兒玉翰長は語れり（東京特電）

製鐵所と採鑛

滿洲支那側の計畫

日支合辦の鞍山站鐵鑛は目下試掘中にて來年度より建設せらるべき製鐵所は滿鐵に於て既に略々その敷地を選定し滿鐵社內に設けられたる同創立委員は著々その準備の步を運びつゝあるが此際支那側に於いては別に獨力を以て錦州附近に製鐵工廠を設けんと種々に計畫し居れり

▲錦州に兵工廠を設立すべしとの議は數年前行はれたる事にて其の目的は東三省各軍所要の兵器充實を圖るに在りしも例の經費不足と馬政紛更の爲め是又た計畫のみにて其儘となりしが滿鐵の鞍山站製鐵計畫に刺戟せられてか最近民間側より錦州附近に於ける鐵鑛豐富の或地域を選定し其の採鑛と共に此處に鐵工廠を設置せんとの計畫起り而して其の計畫の內容は大體漢陽鐵廠の辦法に倣ふて技師を外國より聘用し經費は株式として民間より募集し中央及び地方の官憲之を補助すべしと云ふにあり規模極めて小なるが如く果して近く實現せらるゝや否や疑問なれど東三省の各軍は蒙軍討伐等のため兵器を要すること意外に多きを以て張奉天督軍初め軍界に於ける重なる者は此の製鐵計畫に對し裏面に於て援助をなし居る形跡もあり或は實現の機なしとも言ふ可らず

▲支那側の採鑛に熱心なるは右の製鐵計畫と共に又近時の著るしき一現象にして現に吉林に於ては大龍灘、鍋灰山兩所に豐富なる金鑛發見せられ發見者は既に其の開掘許可を稟請したる上依蘭縣城內に事務所を設け鑛夫二百名を募りて採鑛に着手したりとの說さへあり其他南北滿洲に亙り支那人が官憲獎勵の下に採鑛に熱中し居るは隱れもなき事實にも而も夫れが例の利權外溢防止の名の下に行はれつゝありとは時節柄奇怪至極といふべし（大連）

遼源の對日準備

鄭家屯に交涉派員の新設

[illegible]しと爲し之れが對待準備として在遼南の道尹公署を同處に移して附近諸[illegible]後遼源對日本交涉の頗る重大なる可きに鑑み奉天に於けるが如くに交涉[illegible]軍は中央の選派を以て至當となすも但だ其人物は日本事情の精通を以て[illegible]者なりと云ふが奉天官場に於ては交涉員馬廷亮氏は極力朝鮮總領事[illegible]定せるが猶該方面は移植支那人日に日に增加する上に朝鮮人の來住亦增加し[illegible]對待せんと欲し此旨を中央政府に具[illegible]

司法官會同

總督府にては十八日より向ふ三日間第二會議室に於て司法官會議を開會す可きは既記の如し其日程及び次第左の如し

一月十八日　管內概況報告
一月十九日　同事務打合
一月二十日　總督訓示

一會議は午前十時より正午十二時迄及び午後一時より同四時迄とす
一會議は司法部長官之を整理す
一日程は時宜に依り之を變更することある可し
一會議は各法院長檢事長檢事正を始めとし總督府關係各部局課長も列席するものとす

移民規則改正

東洋拓殖會社にては其の殖民方針を從來第一種移民乃ち小作的地主移民に主力を注ぎつゝありしも今回幹部の更迭と共に將來は第二種移民たる資本拓殖の地主移民に主きを置くこととなるべき由は屢報の如きが從つて會社にては移民規則改正の必要起り昨今川上事業部長は村上殖民課長外關係社員と審議を盡しつゝあり

張督軍の親日態度

巴布札布將軍も確かに死んでゐる

矢田大使館書記官車中談

前奉天總領事代理矢田七太郎氏は今回大使館書記官に轉任を命ぜられ夫人同伴十三日夜南大門驛通過東上した、汶山迄出迎へし記者に語る、何と云つても目下の奉天で

▲張作霖督軍 の勢力は素晴しいものだ、彼れは奉天督軍に民政を掌る巡按使を兼ね加ふるに第二十七師長である、色んな問題の人たるに十分な文武兼備の權勢と實力を收めてゐる、第二十八師長の馮麟閣とは世評の如く仲はよくない、馮は今北京に行つて居るらしい、感情の阻隔があるらしい、或は他省に轉ずるやうな說もあるが恐らく僕は歸るだらうと思ふ、張督軍の日支親善意見？それは彼れの內心深く包藏してゐる眞意は知り難い、けれど其の表面は少なくも彼れの言動に現はれた點より見れば支那は日本の威情を害なつてはならぬ日本に親しみ親善を旨とせねばならぬと云ふ事をよく了解してゐるやうである。彼れの如き滿洲第一の權勢家が左樣な態度を執つてゐる事は日支親善上甚だ好都合だ、それに奉天の特派交涉員（外交官）は元京城總領事をしてゐた馬廷亮で

▲名代の日本通 だから此頃の交涉なども大變好都合に行つてゐる、早い話しが鄭家屯事件交涉の如き警察署を滿洲內地に設置しやうとは國權侵害で日本の要求が餘り酷すぎると昨冬來奉天の公民會は一寸强硬を裝ひ騷いだ、然し最近張督軍が兩國々交上さうした公民會の動靜を不可なりと斷じ其の妄動を抑壓したから殆んど鎭靜してゐる、これなどは督軍の對日親善態度を語るものと見てもよいやうに思ふ、尤も公民會の不穩な態度は單一に鄭家屯の日支交涉問題ばかりの爲めに執つたのでない、それは北京にゐる張作霖反對の人々の煽動や何かも大分與つてゐるかのやうに聞いた、つまり政爭の結果が公民會……敎育家や實業家を網羅した……を動かすやうになつたものと見られ必ずしも警察權問題のみが其の騷ぎの主體でないやうだ、滿洲の昨今は問題も少なく總てが寒氣と共に餘程鎭靜した、例の著名な巴布札布も死んだらしい巴布札布の生死は世上餘程疑問にされてゐるが諸種の情報により綜合すれば其の逝去せる事は事實と思はるゝ彼れも寡兵を提げて蒙邊より滿洲の中央に馬を進め

▲官軍に一泡 を吹かした勇士である、人間も生死を疑はるゝやうになれば確に一個の英雄だ、西鄉南洲の如き源義經の如き然り、巴布札布も其點より見れば立派な勇士と立てゝよからう、巴布札布が死ねば彼れに肩を並べる程の蒙古王は一寸見當らぬやうだしそれに第一軍器の充實が非常に困難だ、蒙古には兵器の製造所はないのであるから何れよりか其の供給を仰がねばならぬ所が旨く行き兼ぬる官軍はそこになると强味があるから今後蒙軍の南下があつても到底問題にするものはないであらう、私は東京に歸つて一二箇月を暮せば英國大使館附になる筈だ、多分三月初め赴任する事に決定らう、赴任の途は船路による積りである、然し此頃は獨逸潜航艇の出沒が諸方に盛んで商船も大に威嚇されてゐる、然し其の襲擊を受けて乘船が擊沈されても生命は大丈夫だ唯僕等は

▲敵國外交官 として捕虜とされる虞れはないでもないが、其時には抵抗すべき武力を有してゐないのであるから敵國に連れられて行くさ、敵も捕虜にして言論の自由を束縛する事は出來やうが頭腦を奪ふ事はなるまいから戰時の敵國を觀察するに好都合かも知れぬ呵々、歐洲戰爭も諸般の狀勢から推察して年內には片が附く事と信ずる、僕は今度英國に行けば戰爭の終期から戰后の外交に移り大變興味はある時だと思つて樂んでゐる云々

鮮銀營業成績

純益五十五六萬圓に及ぶ

朝鮮銀行の大正五年下半期決算附議の株主總會は既報の如く二月十五日東京銀行集會所にて開會する由なるが同期の成績概要を聞くに期初に於て金融緩漫の大勢を持續したるも十月以降米穀豆類の豐作と內地移出引合の爲め生産品貸出し旺盛を呈し又移入界の活況を見るあり通貨膨脹金融繁忙を來せると一方哈爾賓浦鹽の各店にては時局關係による取引多く少なからぬ利益を擧げ又內地にはシンヂゲート銀行團の一として內外債の取扱に當りたる等結局同期決算に於て純益五十五六萬圓を算し前期の四十七萬九千餘圓に比し約八萬圓の增收を示せるが配當は多分前期同樣七分ならんと

東拓所長異動

東洋拓殖會社にては十三日附を以て左の如く各地出張所長の更迭を行ひたり

水原出張所在勤技師　高橋貫一
鷺島出張所長を命ず
榮山浦出張所長事務取扱　參事　秋山運四郎
水原出張所長を命ず
鷺島出張所長事務取扱　參事　安井亮
江景出張所長を命ず
元山出張所長　參事　小山光利
金堤出張所長を命ず
馬山出張所長　參事　笠井建次郎
榮山浦出張所長を命ず
平壤出張所長　參事　西島新藏
馬山出張所を命ず
水原出張所長　技師　吉植庄三
平壤出張所長を命ず
事業部勤務　參事　永山孝造
元山出張所長を命ず
江景出張所長　參事　平野與次
金堤出張所長　參事　湯淺秀富
願に依り參事を免ず（各通）

美濃部總裁著壤

美濃部鮮銀總裁は十三日午後三時十分著列車にて平壤著官民有志の出迎を受け直に鮮銀支店に赴き事務を視察し後柳屋旅館に投宿せるが同夜大同館にて官民三十二名を招待し十四日午後三時二十分發列車にて滿洲に向ふべし（平壤）

大阪より

▲京阪の博覽會 四月一日より京都岡崎公園內に於て京都博覽會を開催す又同日より大阪天王寺公園美術館に大阪市民博覽會を開くと尙大阪電燈會社は京都博の會場の一部に同社製品の全部を出品し電燈事業に關する各製品の智識を啓發すと

▲石油又復値上 石油は外油の輸入減退により內地石油の需要著しく增加せるが特に工業界の旺盛に促され頓みに機械油並に燈油の價格を釣上げ居れるが昨今又復價格の値上げ及び發表時期につき各社寄々協議中といへば早晚約一割方値上をなすに至らん

▲人肥好況 一般人氣の好況に連れ米價亦漸次好氣配を呈したるより自然人造肥料も活況を帶び來れるが殊に硝石の如きは船腹不足の爲め既約品も到底豫定の期日迄には輸入し難き見込にて何れも現在品にて補給するより外なき有樣とて勢ひ底意最も强硬にて百五十五圓臺の强保合硬安亦英國の輸出不可能を氣構へ居ると一方林料薄の爲先行最も强含みにして前途到底二百二十圓臺割は豫期すべきもの如くなるより賣物と稱すべきもの一般に潛伏したるやの觀あり大豆粕また依然手固く二圓九十七錢を示し居る等舊正月以後來月中旬過ぎともなれば農家の買當て必然なれば一般人肥界の供給力薄と相俟ち前途一段の昂騰は餘儀なかるべき狀況なりと

▲海外傭船成立 大正汽船の輸入船萬代丸（四六〇〇噸）は今回賃率四十二志戰時保險傭船者持にて世界航路期間一箇年二月渡にてチャーター倫敦に於て成立したり

▲運賃値上決定 郵船商船兩社は天津航路運賃を二月一日より値上するに決定せり値上の範圍は主務省より認可を得居れる最大限にして約一二割に相當す

▲銅界前途觀測 講和風が一面に於て至大なる關係を斯界に及ぼし價格も氣迷の狀態なり現物百三十三磅五志先物百卅九磅五志電氣銅百四十四磅丁度は最近報ずる處の倫敦銅の價格なるが一時の昂騰相場時代に比すれば其高低の度に大なる等差を見出すべし此の低落時代に於て協商各國より買進みなきは正しく講和問題の經過を氣遣ひての結果と見るを至當とすべく若し何れかに決著せば高低兩方面に著しき大變動を惹起するに至るべし英國の二十億磅の軍事公債を募集する處より觀測を下す時は戰爭は今後尙繼續するものと見るべく果して然らば銅の買物は只中間に講和の結果を氣遣ひ居るため此の軟弱相場に在るも英國に稀有の巨額な軍事公債募集の精神に基きて戰爭繼續するものとせば銅價昂騰斯界活躍は大勢を洞察するもの、齊しく觀測する處なるべし

▲英國商品博覽會 二月二十六日より三月十日迄英國倫敦及びグラスゴー兩市に於て倫敦は玩具類陶器磁器硝子小間物文具類印刷物グラスゴーは織物衣類（出來合）靴食料品家庭用化學品の主要品博覽會を開催するにつき見物志者は神戸商業會議所又は在橫濱英國商務官クロー氏まで申込むべしと（大阪支局）

人事消息

▲[illegible]黃海道長官　十三日夜入京不知火へ
▲工藤平南道長官　同上浦尾へ
▲宮木全南道長官　同上天眞樓へ
▲上林忠南道長官　同上山本旅館へ
▲小川平吉氏（代議士）　十四日朝退京の豫定

南言北語

獨逸の食料缺乏は實際らしい今年の一月一日から一人一日の馬鈴薯消費量を四分の三封度に減率し唯勞働者にのみ制增を與へるべしと農業大臣は宣告して居る▲獨式ターグブラットは群民は小許の馬鈴薯を競落する其の餓鬼道の模樣を嘆じて曰く▲家婦は四時間以上も群衆裡に揉まれて立てり多くは子女を伴ふを餘儀なくせられつゝあり▲押し返し寄せ返す雜沓は子女を倒し踏み躙り其の危險云ふ許りなく警官の制止も全く効なきに似たり▲勞働者の如きも二封度の馬鈴薯を求むる許可を得たればとて▲之が受取に仕事時間の半を徒費するに於ては結局得する所幾何なるべき是は今日の狀況なり▲噫歲漸く寒くして寒き地を蔽ひ物資の移入を杜絕せしむるの候に至らば抑も又如何なる悲情の展開すべきかと噂聲を發して居る▲同情には堪へぬけれど之れも獨逸の自業自得だから致方がないと斷念するより外はなからう▲福島將軍の剛健主義は有名なものだが現代の靑年が餘りにバタ臭いのを罵つてこんな詩を作た相な▲休偏歐米驕奢俗、忽必烈又餘木耳口不喫炙顏不洗、一蹶睡手天地震▲石鹼など握ねる暇には相撲でも取れとは如何樣福島式の言草で味がある▲憲政會の重鎭前の遞相箕浦勝人老の政界隱居說も久しいものだが此の議會が解散とならば愈々高踏して大石豪雛入道の仲間入をするとの事だ▲事茲に至れば斯老に代つて大分縣下の政潮を指導するものは木下謙次郎君を措て他にあるまいての下馬評がある相な▲藤澤幾之輔君の巨軀と肥臂を評してアレは大正の安倍貞任だと云ふものがある惜い事には貞任ほどの膽氣があるや否やだとは之も政黨仲間の下馬評だとサ

大同江の結氷

[illegible]が本月七日初めて鰊刺網にて千[illegible]を漁獲したるが[illegible]より大同江は結氷し牛車[illegible]

創刊號　國民評論

誌壇の一大權威

▼獨逸の本心如何…牧野男爵
▼大勢の歸趨と國策…高橋男爵
▼近代的哲人政治…北昤吉
■新時代の政治哲學（社論）
▼米國の對支經綸…青柳篤恒
▼講和問題の前途…高木信威

國民運動の活機關

▼國民性と戰後敎育…湯原元一
▼日本婦人と大戰爭…成瀨仁藏
▼英國現代の雄辯家…曉庵主人
▼新進作家評論…光田稔
■憲政の理想（上杉博士）暮（谷澗二郎）
■加藤高明（人物月旦）政界の裏面（森成隆）

▼本號に限り金廿錢十五日發行　東京市丸の內有樂町一の三　國民評論社

會長大木伯爵　贊助講師尾崎、高田、上木、箕浦、島田、後藤男爵、仲小路、奧田、鎌田、三宅、芳賀、柳澤伯爵　評議員本田博士、小野瀨有夕主幹、竹越三叉、高木やまと主筆、杉村楚人冠氏

大發展　新聞講義錄

特進生募集大特典提供〇〇一府縣十名を限りとす　詳細は見本規則書を見よ、但し郵券三錢入用　此好機會は忽ち去らん
靑年記者歡迎　大臣學捷徑
東京丸の內有樂町一の三　大日本新聞學會

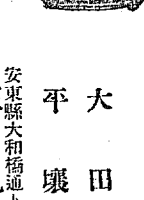
巖谷小波先生監修

賑かな 美しい 二月號　幼年畫報　定價各十二錢 郵稅一錢　東京本町 博文館
特別附錄　ホホケキヨ（鶯を題材にした美しい繪本）繪も噺も趣向を凝して滿載

幼年世界　百圖提供　紙上長距離大競走會　讀易く面白く記事頗る豐富

京城電氣株式會社製品　朝鮮瓦斯電氣株式會社製品　石材販賣
コールター一手販賣（但し辨所持出）　巴商行　樋口米太郎　龍山漢江通八番地（電話四三四番）
眞鍮其他鑄造製作　久保田鐵工所　神奈川電氣株式會社代理　同工場　京城黃金町三丁目三四〇番（電話一四二五番）　同支店

優等清酒



京城府蓬萊町西丁目　三巴正宗發賣元　三巴酒造場　電話四一〇六七番　振替口座六一八番
大田支店　電話一二五番
平壤支店　電話五二二番
滿洲特約店　安東縣大和橋通り　三巴商店（電話二六三番）

[illegible]支那側は日本が四鄭鐵道の進工と與に遼源（即ち鄭家屯）を東蒙開拓の第一關門として其經營の歩武を進む可[illegible]しめて蒙邊國防を嚴重にす可く今や此の道尹、鎭守使の彼此移駐は著々實行中なるが北京政府の外交部は全[illegible]該派員は中央政府より選派するか或は奉天官場中より物色す可きかに就き張奉天督軍に電詢せし處張督[illegible]考察中なるが外交部消息通の洩らす處にては伍總長は意を前駐日公使館參贊官劉崇傑氏に屬し最有力の候補[illegible]

▲支那裁判所設立 [illegible]如く支那政府は鄭家屯地位の重要なるに鑑み外交特派交渉員設置に決[illegible]

▲[illegible] 奉天省當局[illegible]法事務を知縣に委任するを危險とし獨立法廷を同地に設立し以て日本に[illegible]

●迎日灣の初鰊漁 慶尙北道迎日灣は朝鮮海唯一の鰊漁場なる[illegible]以上に上りたりを烈して同漁は例年に比して約廿日を遅れたりと（釜山）

南山をして一大公園たらしめよ

◆双手を擧げて贊成す

▽市中との連絡を完全にしたい

動物園圖書館運動場の必要

—原田金之祐氏の談—

南山を大公園にする事は大贊成である、一日の勤勞を終つて自己の神身に餘裕を生じたとき、煙と埃に立て罩められた市中の熱鬧を脱れて閑靜幽寂の公園に

▽新鮮な 空氣を呼吸すると云ふ事は誰しも望むところであらう然かも現在の南山の公園は此の欲求を十分に滿足せしめて居るだらうか私は決して然ふとは思はれぬ、成る程市街には近いけれども市中と公園との聯絡が不充分である爲めに女子供が鳥渡散歩がてらに公園に行くと云ふ事が出來ず殊に雨が降るたびに

▽道路が 壞れて不愉快である、此の意味から市中との聯絡を完全にして貰ひたい、それから大規模の設計をする事もいゝだらうが兒童の實地教育上必要な博物館、圖書館の如き活潑な運動具の如きものを備へ、或は一週に一度奏樂をするとか、夏の納涼、冬の雪見、秋は紅葉春は櫻、躑躅と云ふ風に

▽四季を 通じて市民の慰安になるやうなものを設備して欲しい公園内に茶屋を置く事は一般公衆の必要上已むを得ないがその取締りは必らず嚴重でありたい、現在に同所に於いて散見する茶屋の風俗は感心が出來ない、風儀の惡いために良家の子女が足を向けるを憚かるやうな場合が尠なくない要するに今日

▽南山に 行くと言へば遠足するやうな觀念から離れて頭の疲れを醫するために鳥渡公園に行くといふやうになりたいと思ふ、大規模の設備をするには金もかゝるだらう時日も多く要するだらうから先づ行し易い手近な方面から落手し、それが將來

▽大規模 の設備をする際に方つて無駄にならぬやうな方針で公園改良に取りかゝりたいと思ふ、

▽四十八谷の景

意義ある計畫 首都たる面目

—進辰馬氏の談—

南山公園に就いての本多博士並びに田村林學士の意見を貴紙を通じて拜見して私は京城府の今回の計畫が頗る時機を得たものだと思つてゐる朝鮮の首都たる體面から言つても南山をして公園として意義あるものとせねばならぬ金剛山と相待つて朝鮮の二大公園とせねばならぬ、それには單に一京城府の事業としては實行が困難ではあるまいか、完全なる公園を希望する府民の一人として私共は公園の施設に要する應分の費用を出す事を辭せないがそれにしても微弱な力である、出來得べくんば國庫の補助を待つか、上級官廳と協力して之れを完成せしめたい、南山は古來四十八谷とかいふて水も多いしその景趣も雄大である、之れに朝鮮固有の風致を止めて適當な設備をする事は結構である。私も南山麓に千坪ばかりの土地と別莊を有つて居り多少樹木も植ゑてあるが今回設計の公園との調和を保つやうな手入れをしたいと思つてゐる。

●五百頭の猪を狩る可く

雲ケ畑御獵場へ勇みに勇んで

三大御獵の隨一なる京都府下愛宕郡雲ケ畑御獵は十三日より開始せられ二十六日にて終了する旨決定したるが本年陪獵仰付けられしは黒木大將井上前英國大使

▲德川慶久公 を初め鍋島主獵官主事織田伊達石川坊城酒井細川粟津伊東の各主獵寮なりと、獵場につき聞くに客臘二十七日積雪三尺に及びしため丹波若狹方面より出で來りつゝありし猪鹿類は姿を潜せしも昨今に至り御獵場附近に來るもの多く獲物の豫想額は猪五百二頭鹿四百五十頭熊五頭雉百二羽山鳥千三百五十羽鶫八百十羽兎千四百頭通計四千六百二十なるが倍增加する見込にて少くも五千二三百に達すべく

▲積雪は昨年 より多く四五寸より一尺五六寸あり尙本年の狩獵係りは宮内省よりの出張員の外勢子約三十名補助獵師十名見廻り十七名監守長一名獵犬三十頭にて昨年の獵獲數は百二十六頭なるが本年は百五十頭以上獲んものと勇躍し居れり（大阪支局）

●戰慄すべき慘禍

結構雄大なる大山坑—曾遊の記憶

大正四年の正月匆々であつた、奉天にゐた記者は樺山理事の紹介狀を持つて撫順炭坑を訪ひ今回爆發した大山坑に下つた事がある、炭坑事務所の前から石炭運搬用の電車に乘つて約十分も行くと、昇降機によつて上げて來る

△石炭 を貨車に積込む裝置を施した櫓のやうなクレーンが天に沖して聳ねてゐる、案内の社員は大山坑から約五分も電車で行けば東郷坑だと說明しつゝ電車を下る、そこに一寸した事務所がある、休憩中記者は帽子と外套を脱りタオルで頰被りし合羽を洋服の上から著た、それから坑内事務員の先導によりカンテラ一つを手に持ちクレーンに上る階段を傳つた、寒い滿洲の北風が身に泌むやうに吹き、曇つた日であつたから午後二時頃だつたが大小の電燈が諸方に點火されてゐた、クレーンの貨車積込場には昇降機により相踵ひで上つて來る石炭滿載の車を機械力で傾けて下に幷んでゐる貨車にドシ〳〵積み込んでゐる、何しろ一日千噸以上乃ち百六十萬斤以上の石炭を運び出すのであるから大したものだ、クレーンを傳つて

△坑内 下降のエレベーターの所に來る、眞黒い坑夫をそこにもこゝにも見かけた、社員は記者の注意を促して昇降機に上らせた、とエレベーターは非常の速力で凄じい音響を立てつゝ下つて行く、薄氣味惡い程深く下つて行く、其の間は闇だ、其の闇の中にカンテラが光る、周圍が冷つこい、莫迦に寒い、と記者が云ふと案内の男は速力が早いから一種の風が冷く面に觸るゝのですと說明した、地獄の底に落ちて行くやうな氣もする、十分もして漸く下に著くと可なり暖かい、然し空氣は溷濁してゐるらしい、そこから坑道を傳ひ少し行つて一の坑内事務所に著いた、お茶でも飮んで寒くなつた膽を暖たかにし、さて坑外に出て凝乎と見る、三間？位の徑のある大穴が縱横に通じ電燈が所々に點いてゐる、其のうす暗い中をエレベータで動く貨車…石炭を積んだのと空車が交互に盛んに動いてゐる、其の音がゴーと響いて高い、案内者はそれから可なり坑内を連れて歩いた

△支柱 が所々に建つてゐる外ドシ〳〵掘り進められてゐるから、一千人以上の坑夫が盛んに掘つてゐる所まではまだ仲々行かねばならぬし、それに危險で汚ないが尤もぜと行かれるなら案内しやうとの事だつたが、可等智識のない記者は此上見た所で分りもせず、第一薄氣味わるく、現世に生きてゐるやうな氣がせぬから此方から願つて漸く昇降機乘降場に出で凄じい勢ひで上るエレベーターに外の交代らしい黒い坑夫と一しよに乘込んだ時は、危い命を助けられたやうな氣がしたのであつた。……其後滿二年

△坑道 は愈深くなつたであらう、あの深い〳〵坑内で瓦斯が爆發して坑内渦巻く火焔と濃烟に充されたら其の狀況は如何に悽慘であらう、記者は思ひ見るだに身の毛のヨ立つ程である（一記者）

●光景酸鼻を極む

入坑中の邦人十七名全部死亡か

損害莫大、善後策に就き講究中

撫順炭坑大山坑の大火災は坑口密閉と共に既に鎭火したるも直接間接の損害は莫大なり田島坑務課長の談に依れば「原因は今猶不明なるも發火個所は上風坑の坑底なりしもの、如く下風坑の煽風機の運轉を停止したる爲め火焔は更に下風坑に上りしも下風坑丈にて空氣旋回し斯くて

▲猛烈に火を吐 たる者と察せらるれば與に進まず從つて內部は案外無事ならん」と又折柄逃れ出でたる支那人も五層以下は何事も無かりしと語りし由損害程度は充分調査の上ならでは判明せず尙當時の入坑人員は一千餘名にして中

▲日本人十七名 此の中二百餘名は東竪坑其他の聯絡坑より脱し生死不明なるは九百餘名なり日本人は小頭十名運轉工夫三名棹取夫一名常役夫一名司厨夫二名にて右は全部死せるもの、如く生存者の中にも死斯中毒二名火傷五名あり

▲光景酸鼻を極む 國澤滿鐵副總裁は急報に接し出張先の長春より撫順に向ひ折柄大連に出張中の米倉炭鑛長も急遽歸任し滿鐵本社よりは販賣課員其他出張し被害視察取調及び善後策に就き專ら講究中也（大連特電）

●所澤航空隊の野外飛行

所澤陸軍航空大隊にては操縱者をして嚴冬上空の寒氣に鍛錬せしむる爲め十六、十七の兩日所澤より相州片瀨海岸迄往復百二十基米突の野外飛行を行ふ筈なり（東京特電）

●熊を逐うて

（四）熊の下敷となる

無造作に熊を味を付た熊の腸詰の美味は到底も里では味ふ事の能きぬ處のものであるが更に熊の掌の肉を喰べて見ると古人が熊掌の美味と稱美したほどあつて何物の甘さも之れに及ぶものはあるまいと思ひます、私が熊獵をして居る間

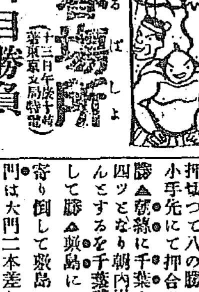
＝最も危險を感じ＝たのは矢張金剛山中での出來事でした、あの邊の山谷は御承知の通り谷が細かいので谷二つ位を越して向ふに居る熊を狙ひ擊つ事も能きるのです其日は非常の雪でいくらガンジキを穿いて居ても泳ぐやうに深く雪の中に這入りました見ると小さな谷一つを隔つた向ふの山の尾に非常な大きな熊が矢張體半分を雪の中に埋めて泳ぐやうにして歩いて居りますから占めたと狙ひを定めて一發やると其の儘前の谷間に落込んで來る樣子である勿論全く息の根を止めたのではないから今一發止め打ちをと思つて狙ひを付けて居ると何うした機端であつたか私は足を踏み

＝辷らして谷底へ＝アナヤと思ふ隙もなく削り立てた壁のやうな嶮しい處を熊と同じ谷の中へ雪煙を揚げて二三十間も轉び落ちたのです幸ひ雪の中ですから命に別條はないが谷底に落て見ると今私の擊つた熊が雪の爲めに上には登れず漸々と自分の方へ歩んで來るのです、紅の帶のやうに鮮血で雪を染めながら近づいて來るので私は堪らない今一發と思つて見ると辷り落ちる際に雪が銃の中へ頰め込まつて終つた爲めに俄に打つ事が能きない『マゴ〳〵』して居る內にはもう熊は目の前まで下つて來た恐ろしく

＝苦しげな呼吸が＝聞ゑて來る捕つたものなら命は百有つても堪らない、私も恐怖に目も眩むばかりに成つた、モウ逃がれにも其邊の雪の中に突き上つて居る岩に縋り付いて逃げ上らうと焦せると運の極みや又其處からズル〳〵と辷り落ちて今度こそ熊の下りて來る六尺ばかり前へ落ち込んだ私は最早絶體絶命前後の覺ゑも無く其處の雪の中に潛り込んだそうして今にも熊の大きな爪で背中の眞中から二つに引裂かれる事と覺悟を極めながら

＝肝魂も身に添はず＝息を凝て居ると熊はやがて其の大きな足で雪をギウ〳〵と踏み鳴らしながら私の背中に上つたと思ふと私は嘗て覺ゑたことのない重さを感じて今にも五體が潰ぶれて終ふかと思ふと熊は矢張り其の儘下の方へズン〳〵下りて行くのです熊も餘程の傷手を負つて居たものと見ゑます私は地獄から蹄つて來たやうな心持になつて早速其の後を追つて行つて其の大熊を打取りました

春場所



▽二日目勝負

（十三日午後東京支局特電）

十三日の二日目は相變らず好景氣にて盛況を呈したるが西の海眞砂石の出場狂せあり場內活氣を呈し午後五時三十分打ち出したり

八甲山 おしきり 龍ケ崎
千葉崎 だし 朝潮
敷島 一港
紫雲龍 千年川
逆鉾 石山
九州山 紅葉川
伊勢濱 小常陸
鳴戸洋 稻葉嶽
稻の穂 休 柏戸
大門岩 預 大鳴門
君ケ濱 はなし 若島
黒瀬川 なげ 宮城山
栃木山 休 鶴渡り
太刀山 だし 兩國

△中入後

眞砂石 よりきり 西の海
駒泉 つきだし 土州山
梅川 琴ケ浦
大響 おしだし 釋迦嶽
宇都宮 預 浦の濱
岩木山 おしきり 玉手山
源氏山 休 朝潮
大錦 こてなげ 大戸平
鳳 對馬洋

▲八甲山●に龍ケ崎●は突き合ひ押切つて八の勝▲鳴門洋●に稻葉嶽●は小手先にて押合ひ引き落して鳴門の勝▲綾綵●に千葉ケ崎は突き合つて右四ツとなり朝内掛けにゆき寄り倒さんとするを千葉は強して反對に寄り倒して勝▲敷島●に一港は左四ツ吊身に寄り倒して敷島の勝▲大門岩●に大鳴門●は大門二本差して寄るを鳴門苦し紛れに小手投を打つて同體に落ち軍配は鳴門に揚がりしも物言ひついて預かり▲紫雲龍●に千年川は千年敵の左手を取り左四つに渡らんとするを紫雲その手を預け右手に千年の左足を取つて突き倒す▲君ケ濱●に若島は烈しく突き合ひトゞ左筈にて突き放し君の勝▲逆鉾●に石山は烈しく突き合ひ石右足を飛ばして蹴返しかけたる時逆鉾強してアワヤ碎けんとしたるが危ふく強して押切り逆の勝▲宮城●山●に黒瀬川●は宮城鋭く突きかけ黒瀬のタジログ所を首投げに行きしが黒瀬強しつゝ出し投を打つて勝▲九州●山●に紅葉川●は紅葉遮二無二突きかけ九の左手を引きかけ突きかけしも九立ち直り反對に透間無く突き立てゝ遂ひに突き出す▲小常陸●に伊勢の濱●は左四つ小手投にて伊勢の勝▲兩國●に太刀山●は兩の突きかけるを太刀受けて立ち兩の右手を引張り込んで左手に巻くや右手を當てゝ強引に押進み捻ねて押倒さんとするを兩強し右手を取つて渡し込まんとしたるが太刀ウンと堪へてそのまゝ強引に捻り氣味に寄り倒す

▲西の海に眞砂石 は眞砂鋭く突きかけ西の腰のグラツク處を透さず双筈に押進めば西苦しまぎれに引き落したるも既に土俵を割り居りし事とて軍配は颯と眞砂に揚り眞砂の勝は滿場大喝采

▽中入後

▲駒泉に土州山 は駒突張つては突き落し或は肩透しを引く事再三土州強すを透さず吊り出して駒泉の勝▲梅川●に琴ケ浦●は雙方呼吸合はず立合ひに暇取りしが漸て立ち上れば梅突きかけ琴が堪へて四つに渡らんとするを突き退け押切つて梅の勝▲釋迦ケ嶽●に大響●は大の右手引き落して大の勝

▲宇都宮に浦の濱 はバツタリ左四ツ浦強引に吊るを宇都外掛けに防ぎ一息の後浦の吊るを宇都又外掛に防ぎそのまゝ寄れ込まんとするを浦土俵際に靠れ込み右手を矢筈に當てゝ體を預けて押し倒す際宇都打薬り軍配は宇都に揚りしも物言ひつきて預かり

▲岩木山に玉手山 は岩木烈しく突きかけ玉が右を差さんとするを押へて押切る

▲大錦に大戸平 はガツキと左四ッに渡り錦の寄りバナを大戸巻き落しにゆきしも利かず錦透さず右手に大戸の差手を絞り上げ持ち出し錦の勝

▲對馬洋に鳳 は突き合ひ對馬左を差し鳳右手を巻いて小手投げを打つて極まり鳳の勝となりしが此の際對馬石の肩を外し控力士大錦大戸平四本柱の檢査員集合し介抱し支度部屋に入り五時打ち出したり

▲休場力士 朝潮は臈加答兒にて柏戸は胃痙攣にて鶴渡りは發熱のため何れも二日目より休場を申し出でたり

▽三日目の取組

（藤の川●大門岩） （大錦 龍ケ崎） （琴ケ浦●常の花） （千葉崎 大の里）
（八甲山 紫雲龍） （鳴門洋 宮城山） （紅葉川 駒泉） （梅ケ谷 浦の濱）
（石山 釋迦嶽） （大鳴門 對馬洋） （大響 栃木山）
（大戸平 源氏山） △中入後 （玉手山 西の海） （鳳 岩木山）
（一若 港島） （敷島 君ケ濱） （千年川 小常陸） （黒瀬川 逆鉾）
（土州山 兩國） （眞砂石 大錦） （伊勢濱 九州山）
（太刀山 宇都宮）

●國技館大相撲 春場所成績表

（表中○勝●負△預×分）

東の方

力士	初日	二日目
鳳	○	○
伊勢濱	○	×
太刀山	○	○
朝潮	や	●
大戸平	●	○
玉手山	●	●
黒瀬川	○	○
眞砂石	○	●
大錦	○	●
鶴渡	や	●
石山	●	●
浦の濱	△	●
千年川	●	○
大鳴門	△	●
紅葉川	●	○
土州山	●	○
敷島	○	●
若島	●	△
柏戸	や	○
千葉崎	○	○
琴ケ浦	●	●
鳴戸洋	○	●
八甲山	○	○
勝星 負星	十二	十九

西の方

力士	初日	二日目
對馬洋	●	●
西の海	●	○
大錦	○	○
栃木山	や	○
兩國	●	○
九州山	○	○
宇都宮	△	●
小常陸	●	●
綾川	や	×
源氏山	や	●
君ケ濱	○	●
岩木山	○	●
梅川	○	●
釋迦嶽	●	●
宮城山	●	○
逆鉾	○	○
近江龍	や	や
緒嶽龍	○	○
一港	●	●
駒泉	○	○
四海波	や	や
大門岩	△	や
龍ケ崎	●	△
勝星 負星	十七	十七

賜天覽台覽

木島櫻谷畫伯○富岡鐵齋畫伯○湯淺半月先生○米野鹿之助先生
裝畫 口繪 作歌 作曲

紐育土地建物株式會社長
岡本米藏君著

中判裝幀淸麗插畫入三五〇頁
改版第五十七版 正價壹圓 郵稅八錢
博文館發行

本書は著者が多年の逆境に掉し艱苦勤勉奮鬪努力、遂に我が天地を開拓するに到りたる修養と經歷とに依りて得たる人生觀及び社會觀を簡明直截に敍述せるものにして格言。金言。比喩。諷刺。俚諺に富み言々句々情と熱と血とを含み眞情流露直ちに人の肺腑を貫く修養書として又、社會評論書として、故福澤翁の『學問のすゝめ』に比すべきものなり

此書一度び世に出づるや、江湖爭ひ求めて底止する所を知らず、累版既に五十有七に及び今亦た

畏くも 乙夜の覽

に供せられたるより見るも、本書に於ける其の信用其價値其權威を窺知するに餘りあるべし。敢て世の教育家。宗教家。政治家。憂國志士の心讀を薦む

牛牛牛牛牛牛牛

是れ現代の最高の思想を現はせる文の血潮と論は修養の書にして讀んで愚ならざる者は之を讀め

(「牛」書評)
是れ現代の最高の思想を現はせる文の血潮にして修養の讀書[illegible]

▲修學行商日記 第十三版
神戸商業學校生徒岡本米藏著
洋裝四六版美本本文百八十六頁 定價金參拾五錢 郵稅金六錢

▲紐育市內外の地所 第二版
紐育土地建物株式會社長岡本米藏著
洋裝極上製漸密寫眞地圖寫眞數十個挿入 定價金九拾錢 郵稅八錢

▲商工界の七十日 第五版
東京高等商業學校學生
洋裝四六判美本寫眞數十入 定價金五十錢 郵稅金六錢

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部
取次所 京城本町二丁目 振替京城二五七三 大阪屋號書店
取次所 京城本町二丁目 振替京城二四五四 巖松堂京城店
其他京城日報社各地支店

怒濤の月

四十八　小林蹴月作　武内桂舟畫

遺書「十」の三

『御勘辨とは、何の御勘辨です?』

大體絹代に關しての事とは、分つて居るのにも拘はらず、幸三郎は、餘りの突飛な詫語に懲いて問ひ返した。

老母も、傍らから口元を少し尖らせながら詰め寄つたのである。

總十郎は、幾びとなく悄氣返つた身體を擠めるやうに縮めて『幸さん絹代の一件ですよ。定めし腹を立つてお在でせうが、幾重にも量見して下さい。絹代を彼樣事に爲て了つたのは、眞個……眞個、慾に迷つた總十郎が一生の過失です。絹代の事は今更百萬陀羅口說いても取返しは付きませんが、切ては、幸さんやお袋さんの腹立ち丈でも、融けて下さらなくては、總十郎の立つ瀬がありません。それもこれもお久に唆かされた結果には違ないんですが、何ぼお久に唆かされたとは云へ、俺が今少し確乎して居たらば、こんな事には成らなかつたでせうが……鈍に生れ付いた俺の因果と斷念めるより仕方がありません。幸さん、赦して下さい。今日此の頃の俺は、全く後悔の涙に暮れて居る所です。我が娘ながら、絹代は、實に〱可哀さうな事を爲ました。言はゞ、金で買はれて行つたも同樣の身上ですから、此處で俺が命に關はるほどの大病だから……と知らせてやつても、お屋敷さまの御都合次第ぢや、寄越して下さるか下さらないかも、知れたもんぢや有りや爲ません、返す返すも殘念な事を爲て退けて了ひました。』と、疎らに抜けはぐつた前齒を噛ひ縮つて、男泣きに泣き出す。

『では、白富の小父さん、貴方は、一旦の慾に迷つて、小母さんから勸めらるゝ儘に、絹ちやんを、原町の男爵家とやらへ妾奉公に遣つてお了ひになつた事を、今更になつて後悔して居ると被仰るんですか。』

『後悔の段ではありません。悔ひ死にゝ死にたいと思つて、嘘飾りでなく、今も此處まで來る途々さへ、お濠の水ばかり眺めて居ました。』

『成程。然う被仰られて見ると、小父さんの氣質ですから、萬更嘘とは思ひませんけれども、只勘辨しろと被仰つた所で、私どもの方でも、何と御返事すべきものやら、一向に譯が分らんぢや御坐いませんか。ねえ、阿母さん、本人の絹ちやんでも連れてのお話なら、又格別ですけれども』

意地を枉げるではないが、幸三郎の立場としては、此の位の事を言ふのは、無論當然なのである。

『然うどころぢやありません。白富さんの方から寢耳に水に破談しておいで、一切破壞れきつて了つた今になつてから、勘辨も不勘辨もあつたものではありますまい。先代の時分から切つても切られぬ親戚の中で居ながら、こんな情ない事になつて了つたんですもの。白富さんのお心持として、お受けを爲ないまでも、絹ちやんに關係したお話丈は、堅くお斷り申しとくのが、何よりです。』

老母には、老母の意氣地があるので、一も二もなく、我が子の方へ肩を持つて了つた。

『いや、お袋さんと云ひ、幸さんの言はれる所は、決して無理とは思ひませんが、其處を情願、總十郎の命一つ助けると思つて、勘辨すると言つて下さい。』

總十郎は、取付く島もない心細い弱り果てた調子で、掌を合するやうに爲ながら、繰返すのである。

『折角ですがね、小父さん、貴方のお入來下さると下さらんとに拘はらず、僕の方では、もう彼の時から斷念めて居りましたんですから、絹ちやんの問題は、今夕のみでなく將來共に、必らず被仰つて下さらん方が仕合せなんで御坐います。お茶でも召上つて、お歸りになつて下さい。』

幸三郎は、斯う言ひ捨てたぎり、厠へ行く態を爲て、ぷいと席を起つて了つたのである。

氣の弱い總十郎老人は、それを引止めやうと爲る元氣さへなくて、又暫時は、顏俯向けて、水洟を啜るのみであつたが、軈て、火のやうな熱い息を噫と吐き流して、『矢張天道樣が已に死ねと被仰るんだらう。』

□泰仁より○○○　鶴堂

春寒を松薪細き焚火かな
春寒や母が手緻の細かなる
春寒に韮の香高き酒菰哉
春寒や裏日小河の鯉黑み
春寒や房洩る妓生の勸酒詩

巳の年頭に蛇の長廣舌 (四)

成南　濱月生

梁の武帝微時蔵を伐て大蛇を射る、長さ數丈目を傷く、明日復往くに數青衣の童子藥を搗く、故を問へば答て曰く我王劉寄奴が爲めに射らる。何の神と、帝之を叱すれば皆散ず。依て藥を得、時人此れに因て草を劉寄奴と名づくと。又曰南人山に入るに皆竹管を以て活きたる蜈蚣を盛る、蛇有るを知れば便ち管中に動作す、呉公蛇を見るに能く氣を以て之を禁む、蛇即ち死すとあり。列子に孫叔敖兒たる時出て遊ふ、兩頭の蛇を見殺して之を埋め歸りて泣て母に白て曰く、見聞く兩頭の蛇を見れば必ら死すと、後人の之を見るを恐れ力殺して之を埋むと。母曰吾聞陰德ある者には必らず陽報あり、德は不祥に勝つ、仁は百禍を除く、汝憂ふる勿れと。楚の宰相となるとあり。叔敖か陰德は世に知れぬものなし。漢之祖夜行て大澤の中に至る、前に行く者還て云ふ、大蛇あり道に當ると。高祖曰く壯士行く何ぞ畏れんやと。乃ち劍を拔て之を斬る。夜老嫗あり泣て曰く吾子は白帝子也化して蛇と爲りて道に當る今者赤帝子之を斬ると、嫗忽見ねずと。李賀蘇の詩に曰、鱗虫三百六居一、大澤深山隨處居、香吐陰陽、誠有道、藏修造化、宣無機、甲鱗漸漸方披處、頭角森森欲露時、待得春雷一聲早、鍊身變作五龍飛

世に蛇足と云ふは無益の物の加はる謂にして、戰國策に陳軫曰、蛇本無足爲蛇畫足とあり。卽ち楚人酒を飲むに幾人に分ては少なく一人には多し、卽ち蛇を畫きて早き者に與へんと。一人畫き終りて酒を飲まむとせしが、未だ蛇の足を畫かざるなりと。足を畫ける間に他の人畫き終りて酒を採り蛇は足無きものなりとて酒を飲み終れりと云ふ。韓退之の詩に、畫蛇著足無處用と云ふにあらずや。人の名に蛇を用ふるは相撲に大蛇潟あり。女賊に蛇のお政、俠客に鼠賊蛇の仇名を附するもの多く。大阪にては鰻を蛇と云ひ、蛇取は柿澀を帶へて喰はれたるとき之を藥とす。直に癒ゆと。蝮酒とて蝮の生きたる儘をアルコール壜に入れ置き、永く貯ひたるは精力を助くと云ひ。又蝮の黑燒、生蝮は何れも藥用す之を服すれば、三代にも汗服に入らずと。蛇の蛻殻は古き倉庫の中に聞くことあり。世に蛇蝎の如く懼るとは、蛇は蛇にして蝎は『サソリ』と云ひ、蒲洲に多く蝦の如く人を刺すと酷烈毒又劇しく甚だ忌み嫌はるの意なり。兩頭の蛇を雙蛇と云ひ蛇行とは腹這にくねり曲り行く形容にして蛇心とは奸惡の心婉の心を云ふ執念深き人を蛇の如き人と云ふにあらずや斯く睦し去り說し來る固之れ群蛇の長廣舌なり留まる處一片の蛇殼に如かずされば或は寧ろ蛇の道は蛇に委するを可とすべき也矣(完)

愈々寒さ來れり
冷性で御困りの御方は―
津村本店の
▼人參エキスを
御存知無き御方でしよう
京城本町一(電話一四八〇振替三五一)
津村兄弟商會本店

新刊紹介

▲日用便覽(大正六年)　總督府觀測所には日次午支各國標準時表各國祭日其他の氣象部には不均溫度寒暖風速降雨量より朝鮮主要地の氣溫降水量其他の地理部には日本全國の面積及び戶口表警察署及び憲兵隊其他朝鮮にかける各種機關の一覽表各種郵便電信料表朝鮮氣象觀測地一覽其他を總て表を以つて示し猶附錄として、氣象信號圖解其他を載せ家庭に一本を備へば便利なるべし(價不詳朝鮮總督府觀測所內氣象調查會)

▲朝鮮公論(新年號)　雨か風か第三十八議會なる題下に床次小久保小野三議員の觀察を初め鮮議賀易の研究、管內農商業家に希望す此の好景氣を如何に利導すべきか等の問題に就て各數名士の說及び人間の志操『大發憨』近世雄民の一大職目『新渡戶博士』世界的人類生活の機運來る『劒崎博士』東拓改革私案『板橋菊松』美濃部鮮鐵總裁論『有賀勇水』並に十六名士の各道長官に進言し其實行を要望す四十五名士の大正六年より必す實行したいと思ふ事二十一名士の私の好きなもの嫌なもの等の外引續き在鮮名士初對面印象記、人間所感未來に小さき人等あり其他花柳界消息鑛業界公論餘滴財界時言等如例(三十錢京城本町二丁目朝鮮公論社)

雙六の話

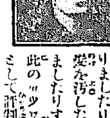
中村芝雀談

昔は竹筒で賽を振りし雙六
今の繪雙六は道中雙六より

(ミツワ文庫六●一)

初春には皆樣がお集まりになつてお遊びになります折も多いことでございますから羽子をつきますとか歌牌をとりますとか、いろいろ新年の遊も多いことでございますが雙六なもその中の人氣役者でございます。此頃のお子さん達の雜誌などにも新年の大附錄には此の雙六が多い樣でございます。所が今流行つて居ます此雙六と昔の雙六とは隨分異つて居ます樣でございます。芝居でも『玉藻前旭袂』で道春館の場で此雙六を用ひます處がございます。鷲塚金藤治秀國が此館へ上使として參ります皇子より御所望の獅子王の劍を差上ずば娘の首を打うて渡せと云ので、ございます。姉娘桂姬と妹娘初花とが義理立の讓合から雙六の勝負によつて命を天道の指圖に任せると云ふことになるのですが此際に用ひますのが昔の雙六で今あります繪雙六とは大層な違でございます。之は雙六盤がございまして竹筒の中の采を振てその出た目の數によつて盤の上の駒を動かして勝負を定る樣になつて居ります。宋洪遵と云ふ方が日本の此雙六のことを書きましたものゝ中に斯う云ふことがございます。日本の雙陸は白木で盤を作り廣さ一尺、長さ一尺五寸許り厚さは三寸ばかりにしてその上に踏を刻み竹筒の中に骰子を二つ置いて此を盤の上で振つて、その采の指した目を見て駒を動かす。駒は黑と白と二色の瑠璃で作り支那の棋子の樣だとございます。此は日本の雙六が支那のものと異つて居るので斯樣に記したものでございませう。伊賀越道中雙六は貞享になりましたり戀女房染分手綱で三吉がお對手をいたします道中雙六は貞享の頃に作り出したものださうにございます。此は『上を下へと〱やうちんへ落ちる髮の毛給そら』などと書いてあります樣に畫へ繪を描いてあつたものと見ゑます。今の種々の繪雙六などは斯樣なものから移り變つて來たものと見ゑます。

△中村福助曰く



初春のお髮の立派に出來る樣にお望みになります方にはミツワ椿油をおすゝめいたします。此までの髮つけ油は兎角毛髮につけますと白くなりましたり、堅くしたり、毛髮を汚したり惡い臭がしましたりするものですが此のミツワ椿油は椿油を基礎にして高名の醫者が研究の末出來ましたもので毛髮を汚すこともなく、裂毛折毛もなく、髮の色澤をよくしますもので髮つけ油としては此上とないものでございます。

す地肌が整のへられて居りませんと斑點になりましたり白粉の濃淡が際立つたりしまして、よいお化粧振に出來上らないものでございます。地肌を整のへますには皮膚の榮養を助けますミツワ石鹸を使つて入浴をしますに越したことはございません。ミツワ石鹸は專門家に伺ひますと不純な混合物のない遊離のアルカリも遊離の脂肪もない化學上の純石鹸であります上に原料によい脂肪を使つて日本人の皮膚に適ひます樣に精製された理想の石鹸でございまして此を用ゐて入浴をしますと皮膚は刺激されて荒れる樣なことはなく汚垢は穩和に落ちて皮膚は清潔になり機能は健かになつて生々とした色艶になりまして白粉ののりものびも宜しくなりますから美しい化粧振に出來ます

商況

限月		
四月限	一七七・二〇	一七七・二〇
五月限	一七六・六〇	一七六・六〇
六月限	一七七・〇〇	一七七・四〇

の入電にて第一節第十二圓三十錢中十二圓二十入錢より三十三錢と跳ねて引先十二圓九十八錢と四錢安に寄付するや賣物多く五圓と押したる 大阪正高を移して遂に十三圓〇一錢と敢會を告げたり市況は大阪の鐵て不勢に一部の投げを顯致したると新規物資爲ひの賣物多く折し一圓に [illegible]

▲㋑大に賣る　後場同店より賣りたる玉數四千株に [illegible]

▲⊕能く買ふ　後場同店より買たる玉數四千餘石にて一圓小干石の買ありたるも注目

受けて戻げに新規に賣物多く押し圓九十八錢より二十八錢と押したるが果せる哉㋑より優勢なる買物現はれ買操したる玉數實に二萬石と註せらる [illegible]

先限㊀十二圓九十八錢七錢七錢六錢六錢五錢六錢五錢六 ㊁三十三錢出來高九百五十石

出來高　四萬七千七百石

平均　前場一節　十二圓九十六錢　後場一節　十二圓九十六錢

新春のお寫眞は南大門通の京城寫眞館にておうつしあれ
技術優秀・價格低廉・室內如春

廢品被服拂下入札
春川憲兵隊本部
古品夏物、多物並ニ防寒用被服五十八點
有償却ス詳細ハ一月十三日朝鮮總督府官報及當隊本部揭示場ヲ見ヨ

京日案內
普通五十錢一回前金　番外一圓一回前金　一選名二圓
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通
◎低利商人官吏へ金融極秘信用便宜立替御報伺又は御來談　京城旭町二丁目六番地東京旅館裏　江崎　27
◎店員入用十五歲以上卅歲迄勞働に堪る者希望者本人來談又は履歷書送れ　仁川足立組回漕部　46
成功致富の好機會　相場の素養ある富豪又は資力家の財產利殖係に招聘せられたし(姓名在社)　成金の近道株式　32

番外
皮膚病黴毒痳病專門　佐藤醫院　京城明治町二丁目(元階町)　看護婦入用　見習看護婦　46

店員採用
敏活の青年にして海運業及各種代辦業に就職希望者は履歷書携帶來談あれ　但市內二名の要保證人　姓名　仁川支局　48

◎京城春川間行自動車　毎日午前八時卅分出發　賃金片道四圓
京城南大門通一丁目　電話二一九番　廣橋自動車組　主務　金正淵　4

◎京城發前八時　◎春川發前八時
京城春川間乘合自動車　賃金片道四圓
京城水標橋通り　電話武壹參八番　京春自動車商會　支配人　松田壽男　2

秘密　親切　勉强　◎質◎
若草町四十番地　荒井牧場向横小路　㊂質店　13

△外事社員採用
希望者は履歷書持參午前中來談あれ
京城鍾路二丁目二十二番地　日本國債債券株式會社　朝鮮總支部　37

最新刊

書名	著者	定價
當世百道樂	堀內新泉	一、二〇
一用家事精義	大江スミ子	二、五〇
殖産と石灰問題	山所哲太郎	一、三〇
孔子及孔子教	服部宇之吉	一、七〇
訓釋本朝名家詩文	岡田、佐久	一、五〇
論語講義	三島毅	一、二〇
日蓮聖人の孝道	磯野本精	九五
大正五人男	村上浪六	一、三〇
安心生活	椎尾辨匡	一、二〇
成功の秘訣牛の如し	野中忠作	四五
新モンロオ主義	厨川白村譯	一、〇〇
大正和歌の作り方	米山芳邨	六〇
新撰日本書畫名家年表	矢野幸六	二五
家庭叢書 七福神古事來歷物語		三五
挿入花賞體寫眞百瓶	小林鷺州	一、五〇
小說つきぬ涙	篠原嶺葉	六〇
ペン手書と楷書の書方	黒柳勵	八五
法律問答	坂上綱吉	四〇

大阪屋號書店　京城本町二丁目電話二〇八六番振替京城二五七三番

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と可成御需に應ず
京城日報社　寫眞製版部

京城府告示第一號
京畿道高陽郡漢芝面新堂里所在京城府新堂里火葬場改築ニ付當分ノ間其ノ使用ヲ停止ス
大正六年一月九日
朝鮮總督府府尹　金谷充

新刊圖書御案內

書名	著者	定價
◎實地蔬菜栽培の研究	片山熊太郎	八〇
◎惡童の研究	深柳政太郎	一、〇〇
◎商機と禪機	間宮英宗	五〇
◎決鬪錄	山崎楽	一、〇〇
◎日獨握手論	樋口麗陽	一、〇〇
◎朝鮮司法提要	高等法院	九五
◎杖の跡	大町桂月	一、三〇
◎教育行政及行政法	楠田萬	一、八〇
◎實驗氣溫育蠶法	佐原周作	一、五〇
◎現代都市の研究	片岡安	三、八〇
◎國民年鑑	大正六年	五〇
◎小唄選	湯朝竹山人	九五
◎最新復式商業簿記	志津清一郎	九〇
◎朝鮮六法全書	巖松堂	一、八〇
◎民事新訟判決實例	同	三、〇〇
◎朝鮮鑛業要覽	鑛業研究會	一、二〇
◎旦那樣と奧樣	山村愛花	四〇

巖松堂書店　京城店　仁川店
京城本町二　電話一一六六番　振替京城二四五四番

FAMILY・HOTEL
ファミリーホテル
客室　食堂　完備
市內四通八達の場所　土地高燥、眺望絶佳、庭園廣く閑靜の地
佛蘭西料理調進
宴會は特に御便利に取計ひ可申候
舊ソンタクホテル改　ミセス、ポーエル
京城南大門通三　電話一二一八番

金泉醴泉間自動車時間
上り　一番　二番
金泉發　前八、三〇
開寧着　九、三〇
咸昌着　一〇、二〇
醴泉着　一一、二〇
尙州發　一二、三〇
尙州着　後一、三〇
下り　一番　二番
醴泉發　前八、〇〇　後三、〇〇
尙州發　九、三〇　四、〇〇
金泉着　[illegible]
▲小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

大邱浦項間自動車時間
上り　一番　二番
浦項發　前六、三〇　後〇、二〇
安康同　七、二〇　一、一〇
慶州同　八、〇〇　二、〇〇
阿火同　九、〇〇　三、〇〇
永川同　九、五〇　四、〇〇
河陽同　一〇、三〇　五、〇〇
大邱着　一一、二〇　六、〇〇
下り　一番　二番
大邱發　前六、三〇　後一、二〇
河陽同　七、四〇　二、三〇
永川同　八、三〇　三、二〇
阿火同　九、二〇　四、一〇
慶州同　一〇、一〇　五、〇〇
安康同　一一、〇〇　六、〇〇
浦項着　一二、〇〇　六、五〇
大邱出張所　電話二一七番
大塚農場自動車部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸　一月十日　後四時出帆
○秀吉丸　一月　日　後四時出帆
○君か代丸　一月十六日　後四時出帆
○神代丸　一月十二日　後四時出帆
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○立神丸　一月　日　後五時出帆　門司、神戶、大阪行
○小倉丸　一月　日　後五時出帆
○山清丸　一月　日　浦鹽行
○立神丸　一月　日　後十時出帆
○小倉丸　一月　日　後四時出帆
○元山丸　一月　日　後六時出帆　西湖、新浦、城津、清津行
○第三琴平丸　一月　日　後六時出帆　門司、宇品、神戶、大阪行
○佐須奈丸　一月　日　後六時出帆　嚴原、壹岐、博多行
○天草丸　毎月二日、九日、十四日(午後十時出帆)、廿一日、廿六日
釜山港埋立新町　本船取扱店　六池回漕部

日本郵船仁川出帆
○大連行、秦皇島行
營口丸　一月十五日正午出帆
淡路丸　一月廿一日正午出帆
高砂丸　一月三十日正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船仁川出帆
本社　京城南大門通　電話長一九五、二一二番
○全羅丸　一月十五日
○京畿丸　一月廿三日
○黃海丸
○咸鏡丸　一月二十日　門司より釜山各港寄港基隆航路　釜山發
○穩城丸　一月　日
○昌平丸　一月十七日
○鏡城丸　一月十四日　元山發
○昌平丸　一月十六日　元山發(元山より各港經由雄基行)
○盈德丸　一月十三日　釜山發(甘浦、九龍浦、浦項各港寄港經由鬱陵島行)
○江陵丸　○襄陽丸　毎日　釜山發　浦項發(長生浦方魚津寄港)
○三浦丸　一月十六日　釜山發(長承浦、巨文島、濟州島各寄港)
○海州丸　○統營丸　○巨濟丸　○慶寶丸　毎日　釜山發
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發(各港經由麗水行麗水より釜山行に接續)
○慶興丸　一月十六日　木浦發(各港經由濟州島行西廻)
○慶興丸　一月　日　木浦發(南多島、海州島行東廻)
○公州丸　一月十五日　木浦發(各港經由濟州島行東廻)
○江華丸　毎日　仁川發
○麗水丸　○晉州丸　一月十八日　仁川發(各港經由木浦行)
○江原丸　一月十八日　仁川發(芝罘、大連、青島行)
○全州丸　○錦江丸　毎日午前　仁川發
京城南大門通　京城取次店　松原運送店(電話長一七〇番)

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
第十六共同丸　一月十一日入港　一月十三日正午出帆(關東都督府命令船)
朝鮮鐵道主要驛にて旅客連絡輸送取扱仕候
大連にては滿鐵定期船接續旅客共直航船と同一取扱
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目(電話一七三番)　野口商會
元山代理店　春日町(電話二四四七番)　田口回漕部
京城取次店　南大門(電話二六八●二〇七)　河村運送店

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬船は沿岸航路を除く事の時は五分前を以て出帆致候
○群山、木浦、釜山、門司、神阪行
○濟州丸　一月二十日
×安東丸　一月十五日　後五時出帆
×天智丸　一月廿三日
×信濃川丸　一月二十日　正午出帆
×信濃川丸　二月三日　後二時出帆
○木浦、釜山、嚴原、鎭の浦、長崎行
○群山、釜山、博多行
△湖州丸　一月十七日　後二時出帆
×福州丸　一月卅一日
○大連行
○信濃川丸　一月三十日　正午出帆
×信濃川丸　一月十六日　正午出帆
×湖州丸　一月十三日
△福州丸　一月廿七日
×安東丸　一月　日　正午出帆
○濟州、浦鹽行(九日出帆)
▲月、城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
▲安平丸　一月十四日　後十二時出帆
▲宮島丸　一月二十日
○木浦、釜山、門司、大阪行
×大智丸　一月　日
×天智丸　一月十四日　正十二時出帆
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
×北丸　二月八日　前六時出帆
基隆丸　一月廿六日　後四時出帆
御注意　●朝鮮鐵道及び朝鮮郵船の旅客は本社出張所に於て一時同切符發賣仕候●朝鮮各港乘船券は本船發賣仕候△は貨物のみ×は旅客のみ
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二番二〇〇番五五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社京城支店(電話七〇八番)
●中國四國沿岸各港船客に對し一割引を以て切符發賣仕候